

第37回愛知サマーセミナー

統計で新発見！

人口で見る名古屋の今と未来

令和8年7月18日

名古屋市総務局企画部統計課



310万人

日本の人口（国勢調査）

令和 2 年 1億2,614万6,099人

令和 7 年 1億2,304万9,524人
(速報集計)

5年間で減少した人口 約310万人

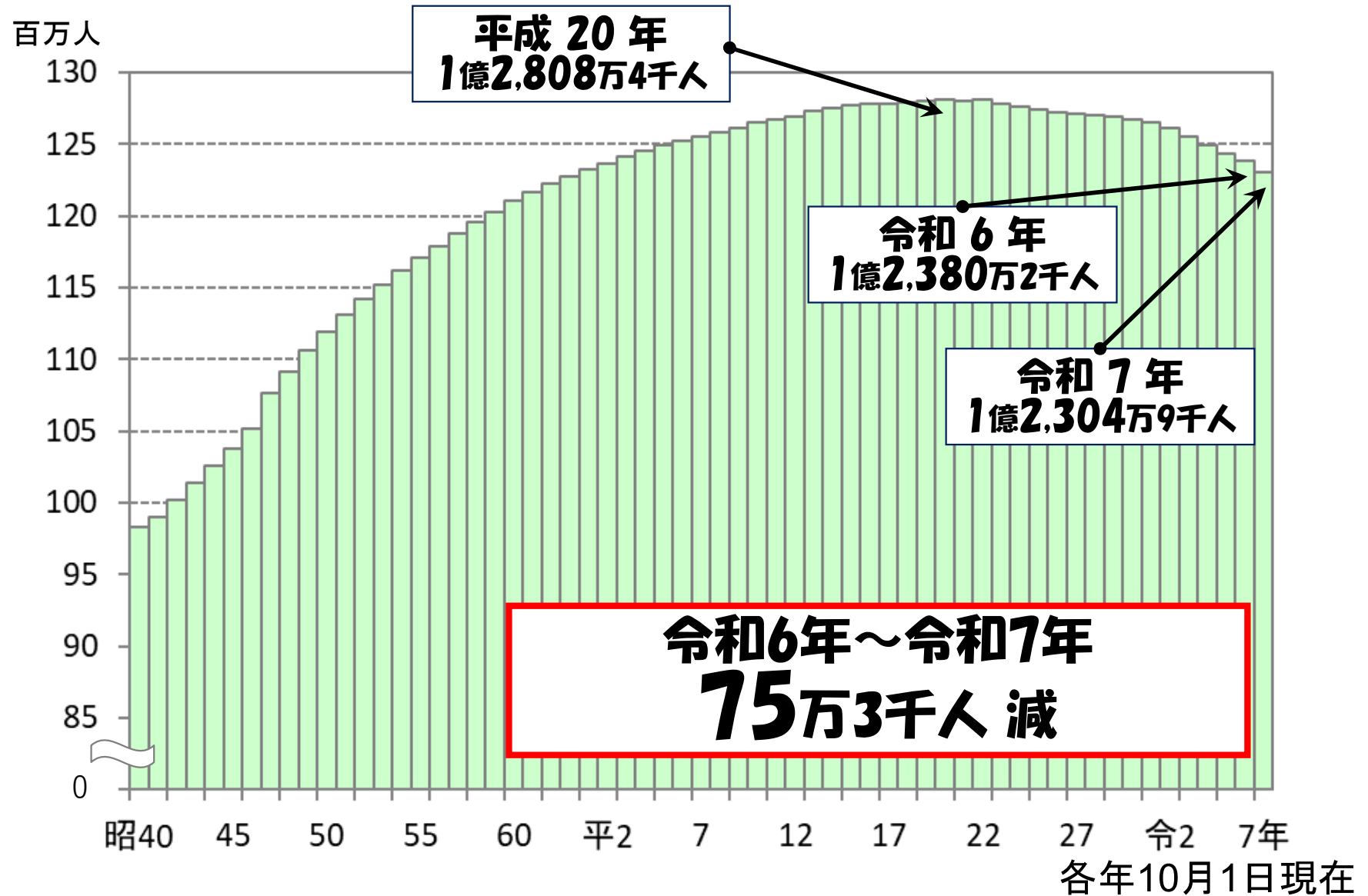
令和7年10月1日現在の

三重県の人口(約169万人)

滋賀県の人口(約139万人)

日本の人口の推移

日本の人口は平成20年をピークに減少



①正しいのはどれ？

昭和40年から令和7年までの60年間、
名古屋市の人口は
どのように推移してきたでしょうか？
次の中から一つ選んでください。

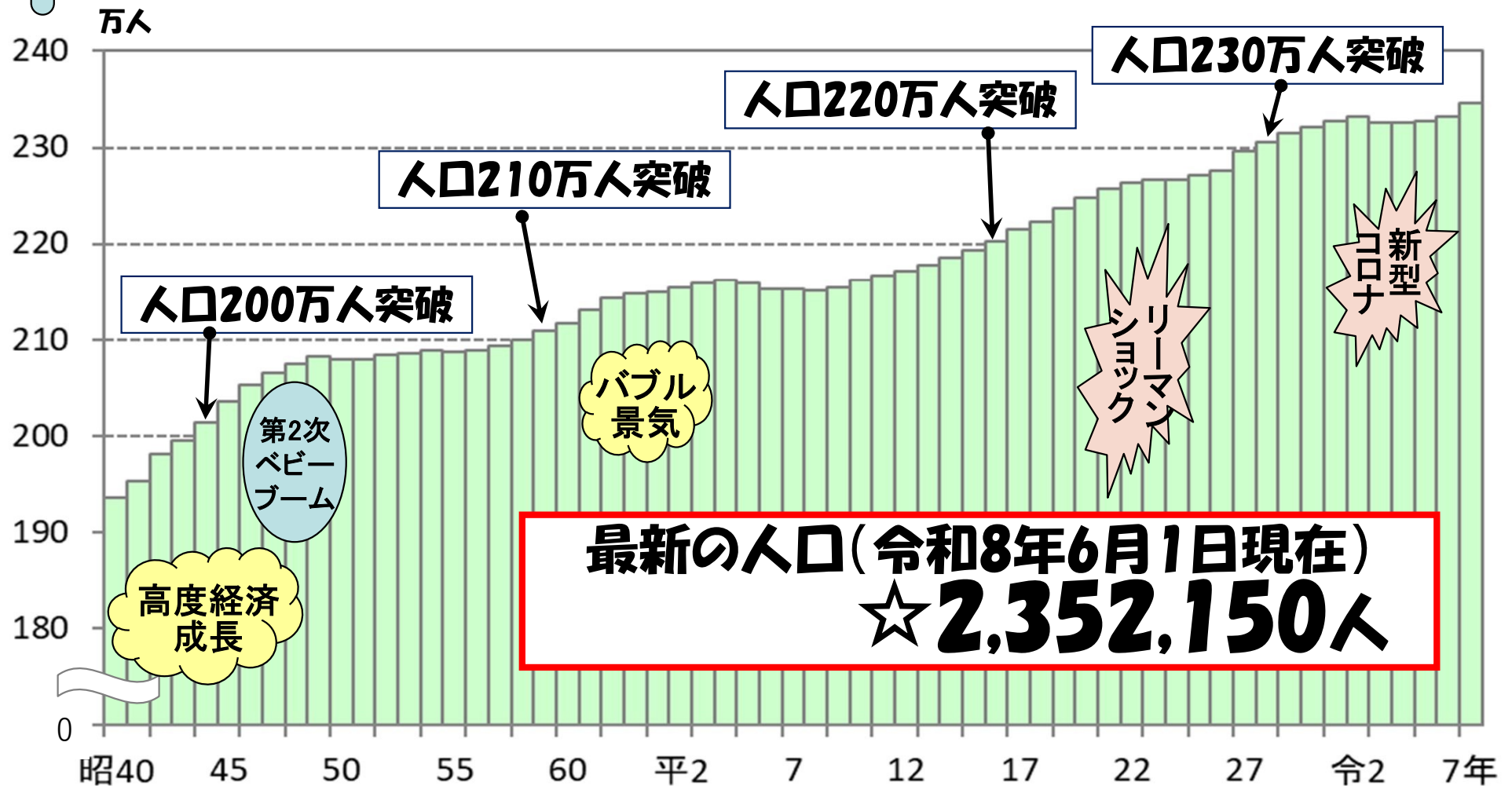
正解 ①おおむね増加し続けている。  グー

②昔は増加していたが、
近年は減少が続いている。  チョキ

③おおむね減少が続いている。  パー

名古屋市の人口の推移

名古屋市の人口はおおむね増加し続けている



各年10月1日現在

人口の増減

人口は2つの要素で増減する

出生 — 死亡

自然増減

と

転入 — 転出

社会増減

**名古屋市の人口はどちらの理由
で増えているのか・・・？**

②正しいのはどれ？

名古屋市では、令和6年10月から令和7年9月までの1年間で、**自然増減**（出生-死亡）と**社会増減**（転入-転出）のどちらがプラスだったのでしょうか？
次の中から一つ選んでください。

①自然増減がプラスだった。



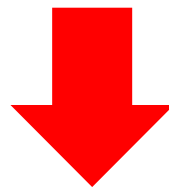
正解②社会増減がプラスだった。



③自然増減と社会増減、両方ともプラスだった。  **パー**

令和6年10月から令和7年9月までの1年間

自然増減
-12,173人

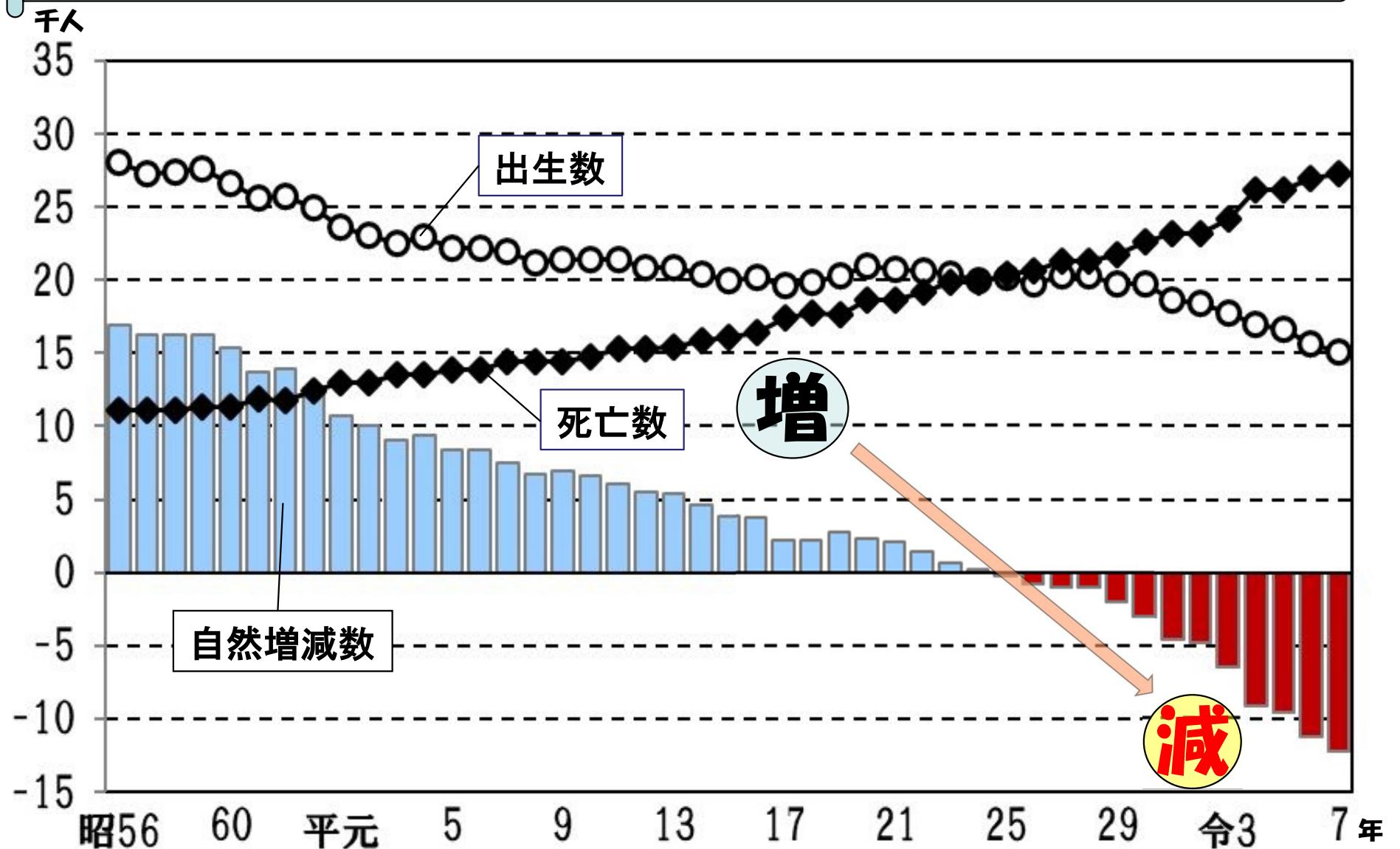


社会増減
+19,782人



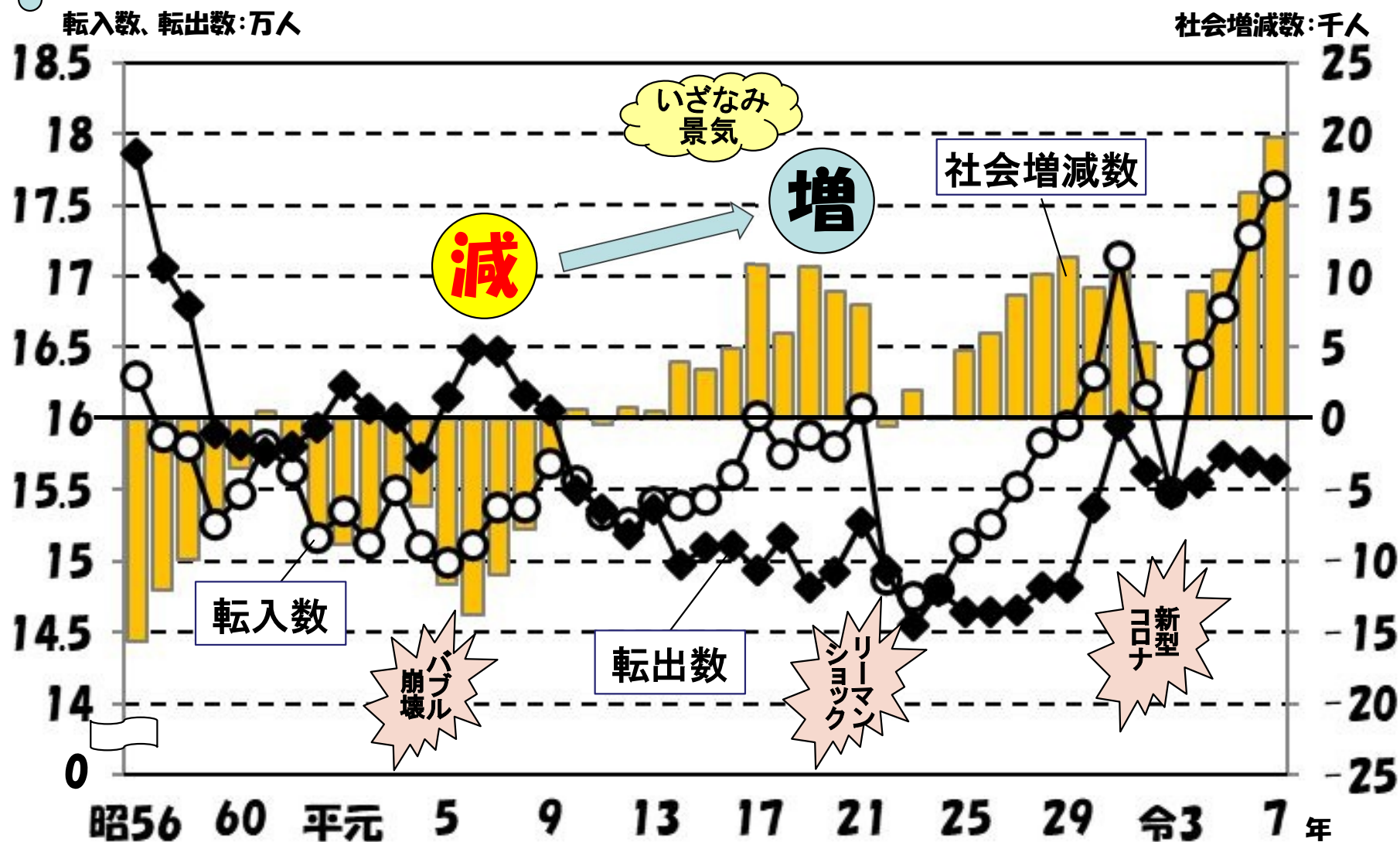
自然増減数（出生数－死亡数）の推移

出生は減り、死亡は増えている



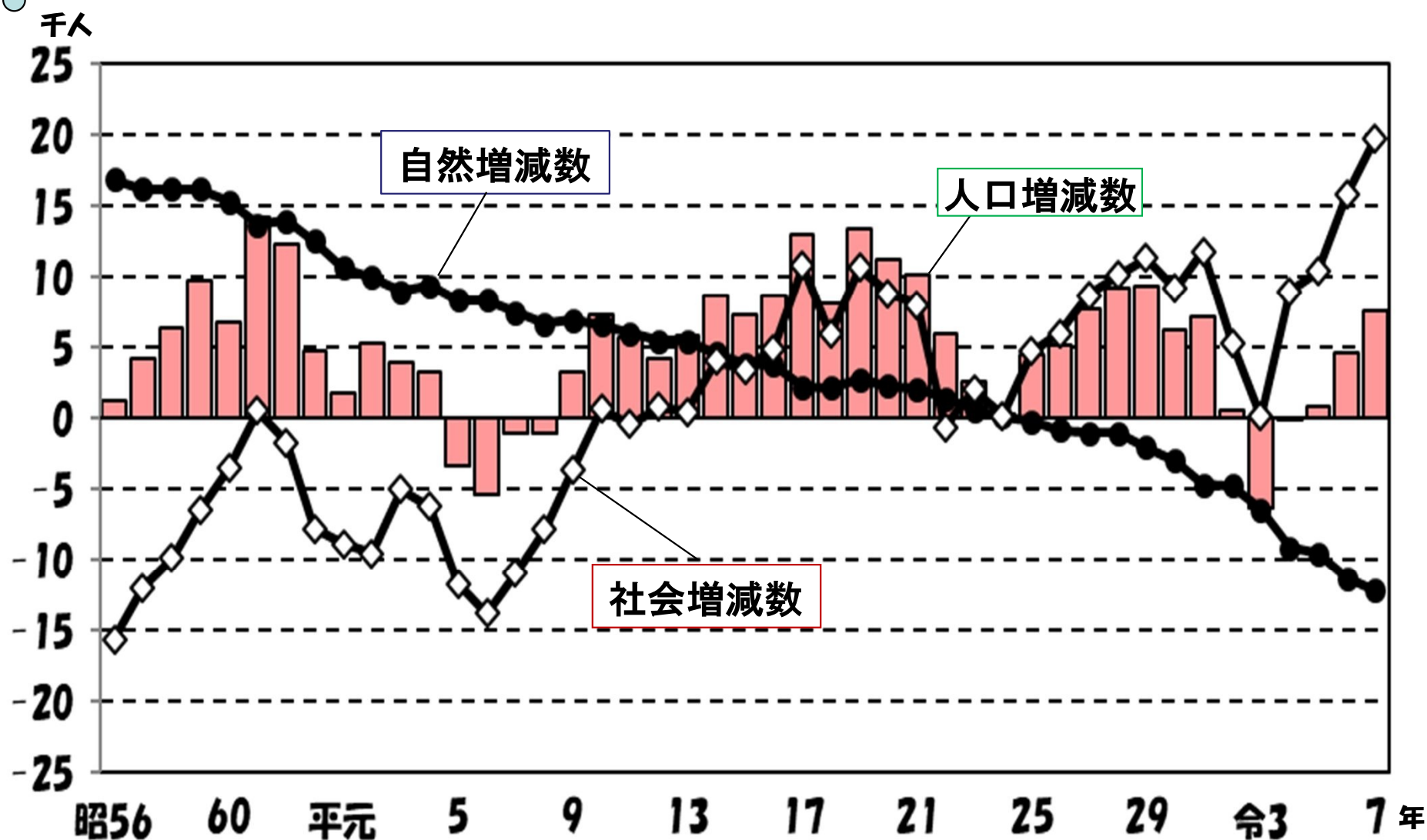
社会増減数（転入数－転出数）の推移

社会増減は景気など社会情勢の影響を受ける



自然増減数・社会増減数・人口増減数の推移

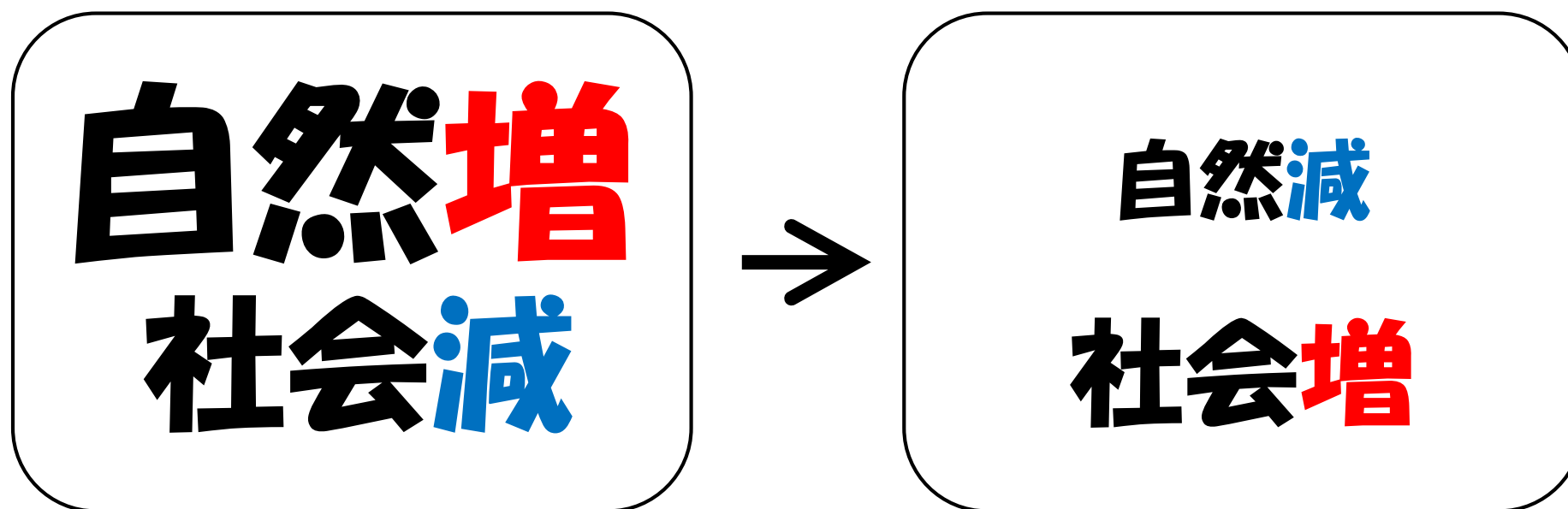
自然減となった今、社会増が人口増を支えている。



人口増を2つの要素に分けて 見た結果

昔

近年



同じ人口増でも内訳が異なる。

この先、名古屋の人口は
増えていくのか…？

③正しいのはどれ？

約15年後、名古屋市の人口はとなると
予測されているでしょうか？
次の中から一つ選んでください。

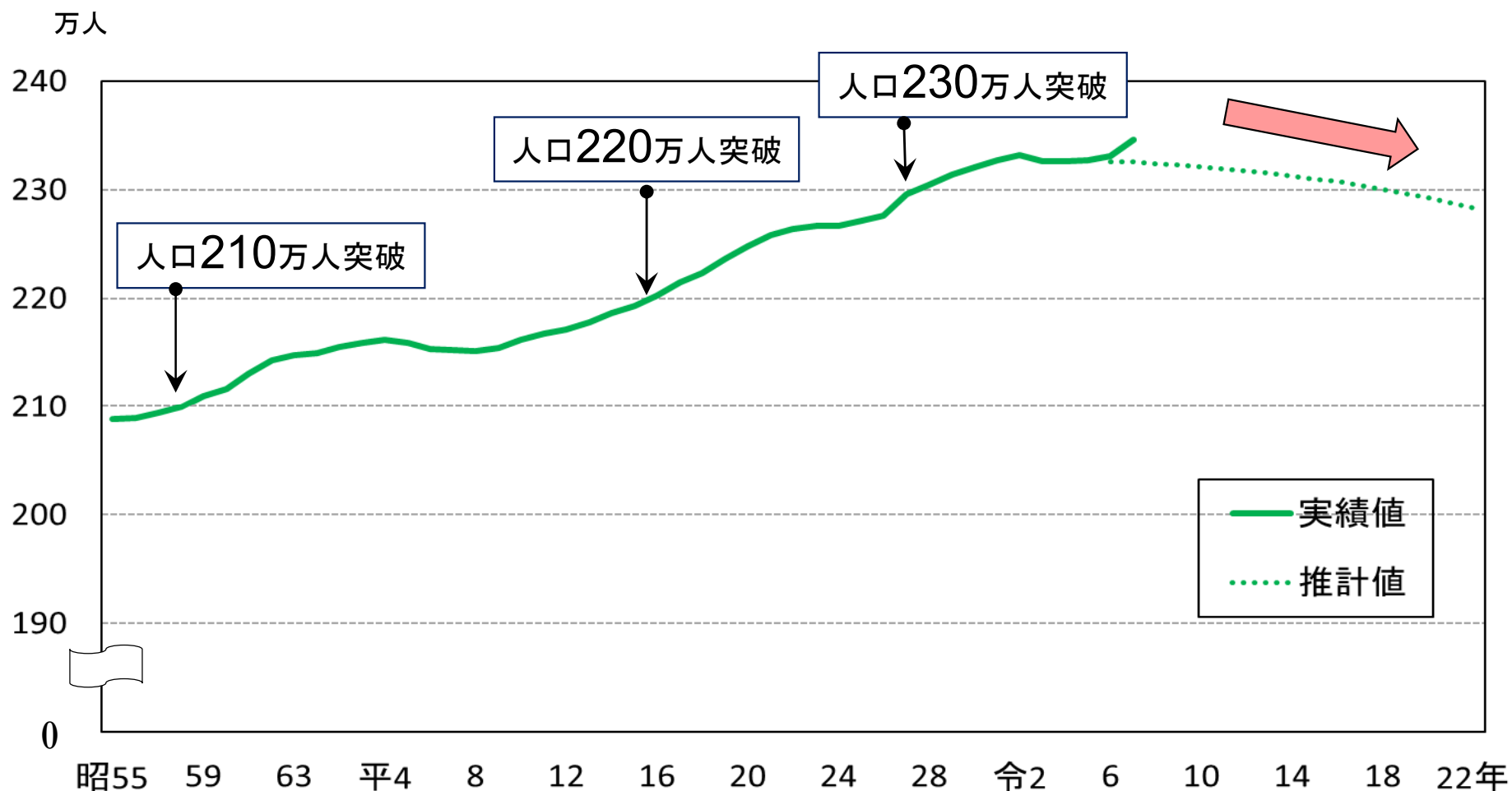
①増加する  グー

②ほぼ横ばい  チョキ

正解 ③減少する  パー

名古屋市の将来人口推計

今後、人口は減少していくと予測



推計値の基準年人口：令和5年10月1日推計人口

年齢別人口

年齢3区分で人口を見る

0～14歳
(年少人口)

15～64歳
(生産年齢人口)

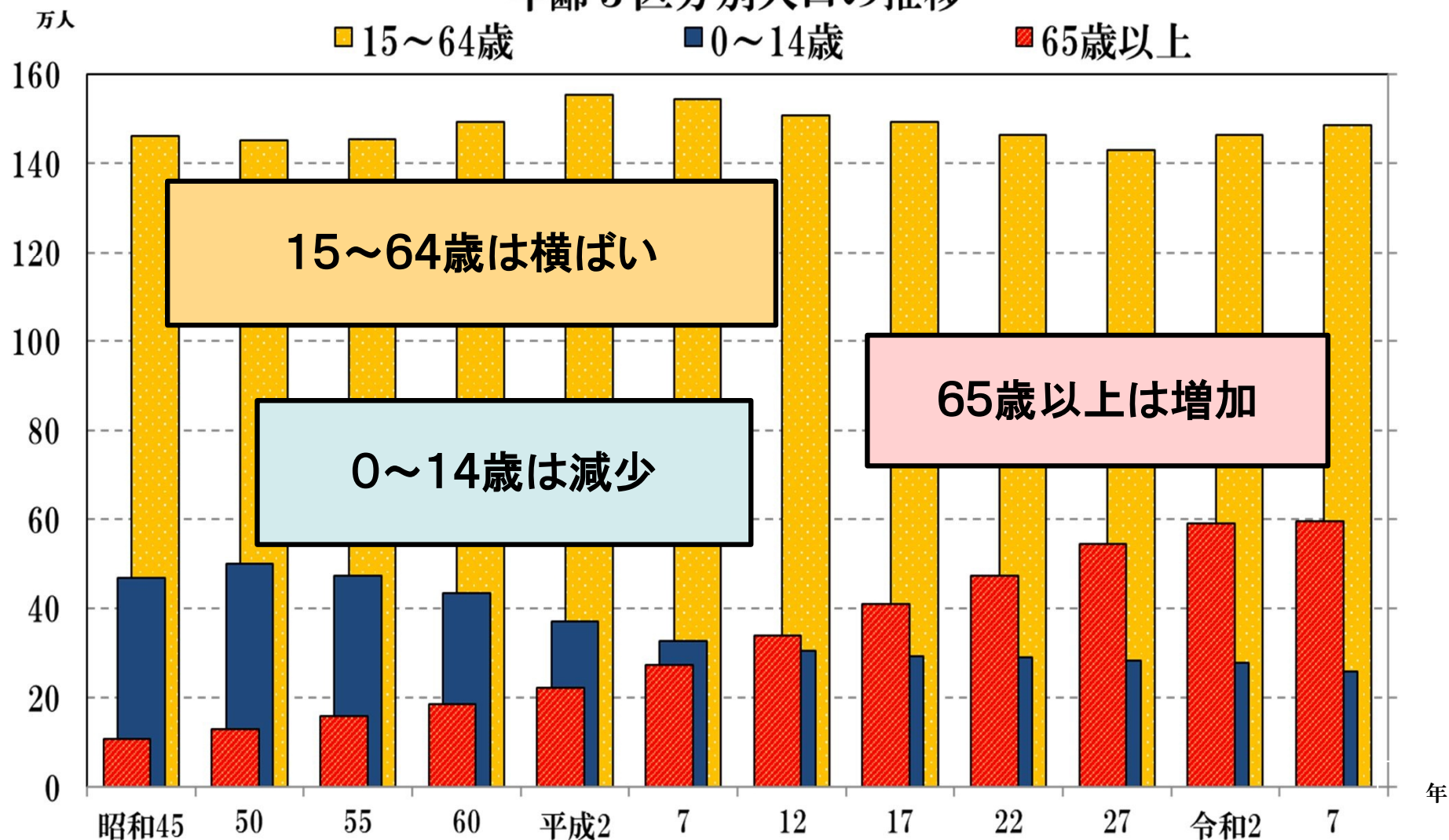
65歳以上
(老年人口)

年齢3区分で名古屋市の人口を
みてみると・・・？

年齢別人口の推移

名古屋市の人口構造

年齢3区分別人口の推移



昭和45年

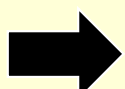
(1970)

203万6千人 

0～14歳（年少人口）

46万7千人 

15～64歳（生産年齢人口）

146万2千人  148万6千人

65歳～（老年人口）

10万7千人  59万6千人

※1 令和7年は、令和2年国勢調査結果の確定値を基礎とし、
毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減したもの。

令和7年

(2025)

233万9千人
(実績値)

25万7千人

(参考)

令和22年

(2040)

228万3千人
(将来人口の推計値)

25万8千人

133万1千人

69万4千人

※2 将来人口の推計値の基準年人口
は、令和5年10月1日推計人口

少子化と高齢化

人口構造の変化→少子化、高齢化が進んでいる

少子化

≠

高齢化

少子化とは、高齢化とは・・・？

少子化

合計特殊出生率
1人の女性が一生の間に産むこどもの数に相当する数値



長期的な人口維持のための水準は

2.07 (令和6年)

名古屋市の合計特殊出生率

1.12 (令和6年)

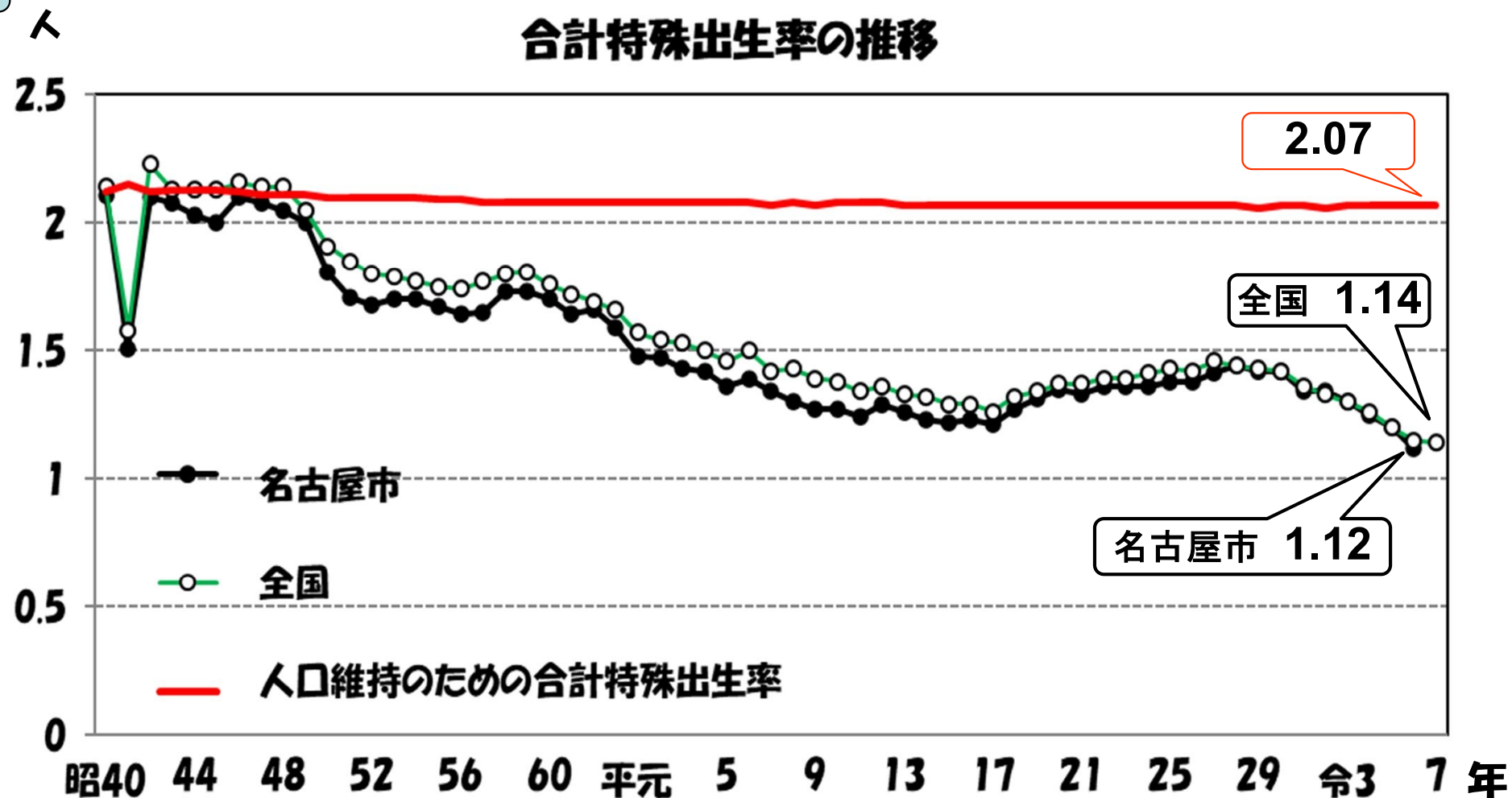


全国	<u>1.14</u>	(令和7年概数)
東京都	<u>0.96</u>	(令和7年概数)

ちなみに… 希望出生率 **1.6** (名古屋市)
(こどもを産みたいという希望が叶った場合の出生率)

少子化

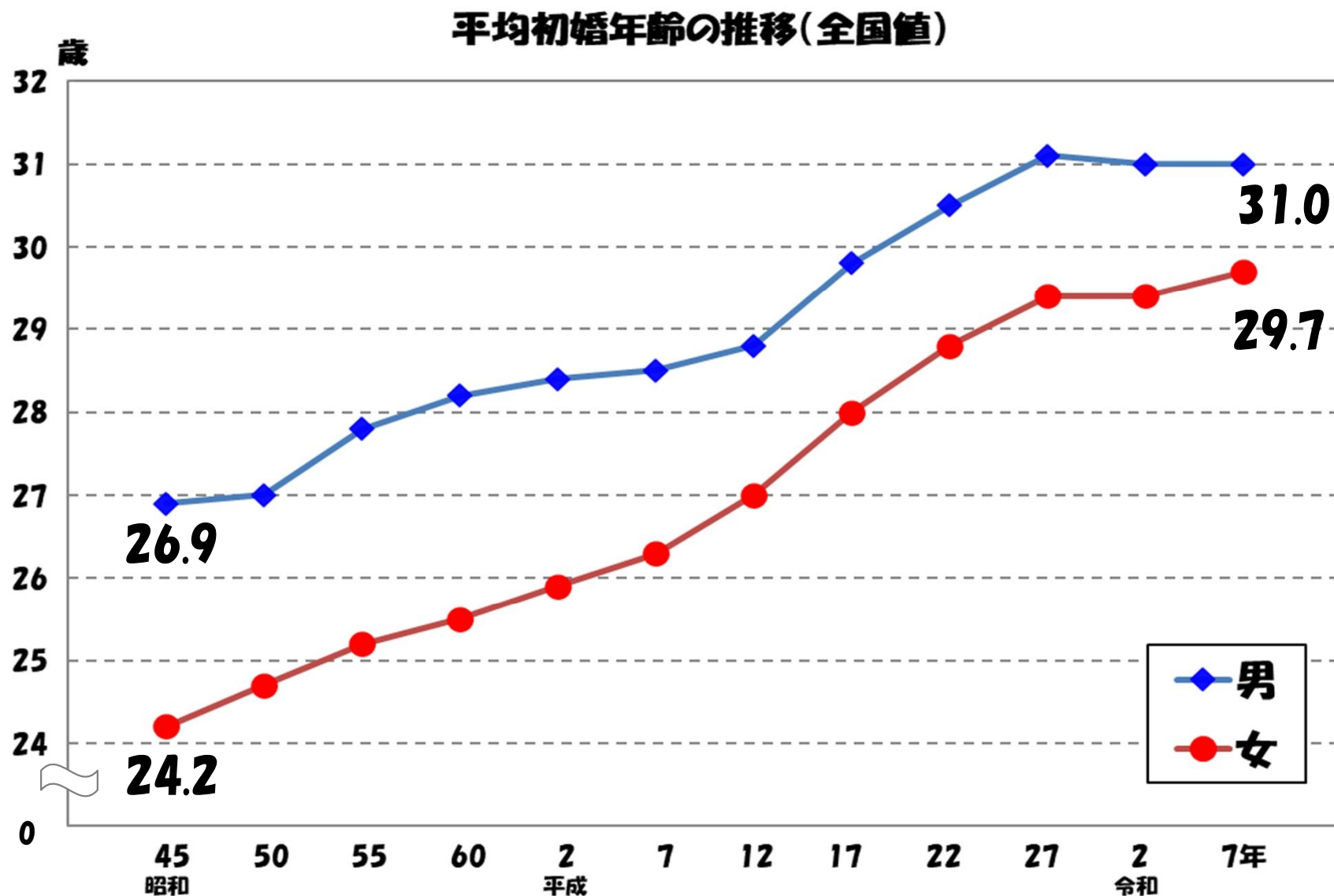
合計特殊出生率は人口維持のための水準を大きく下回っている



約50～55年前から少子化

少子化

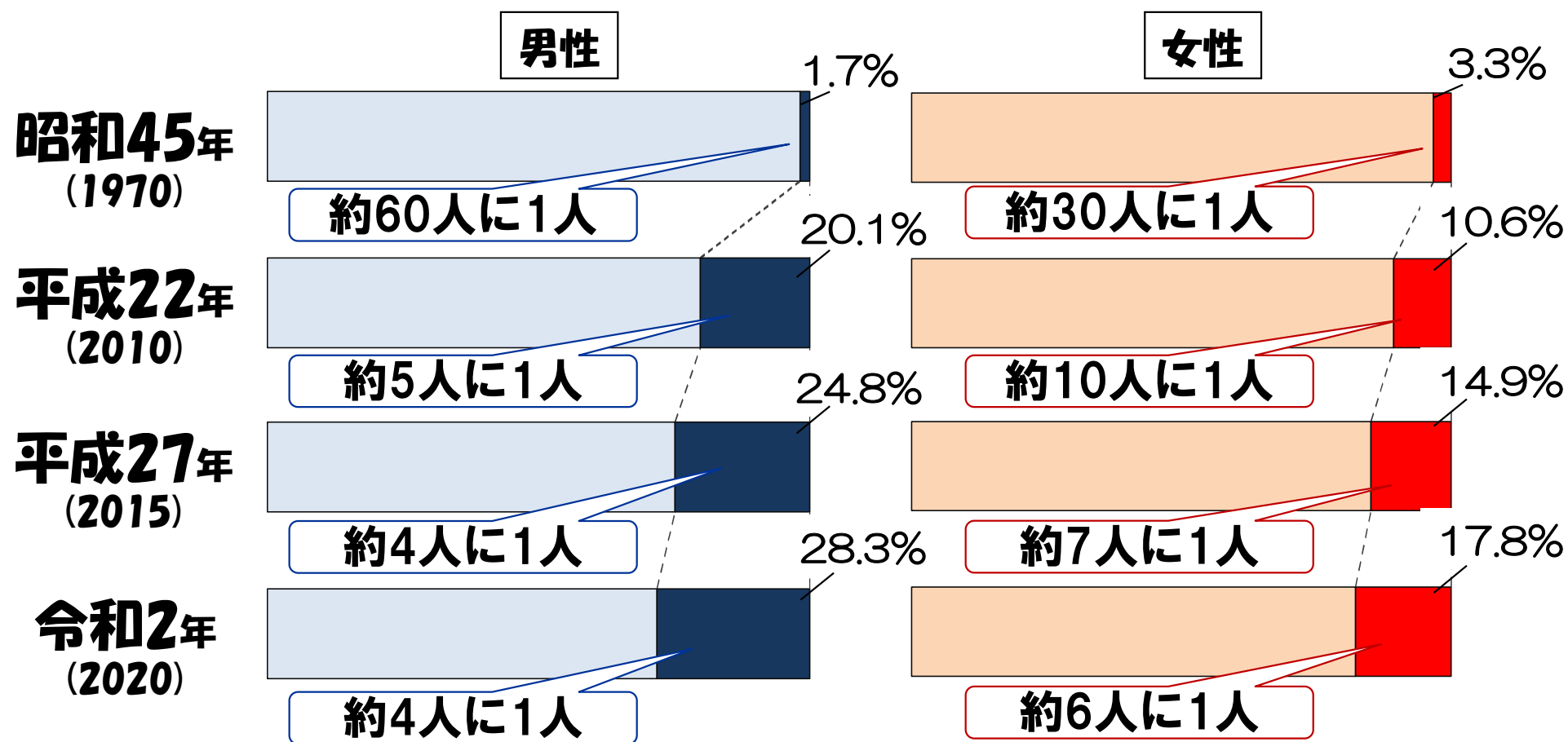
少子化の背景① 晩婚化



少子化

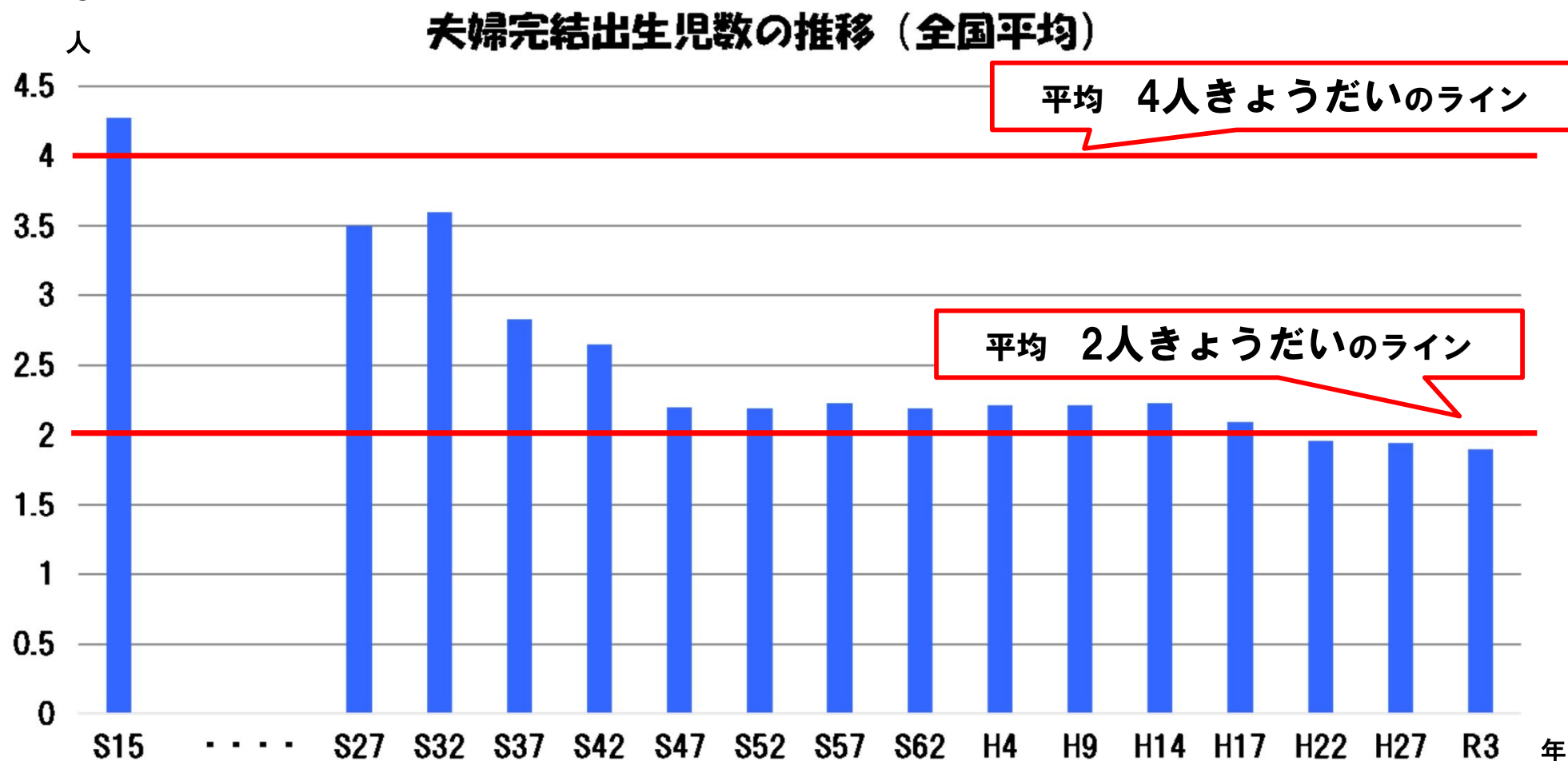
少子化の背景② 未婚化

50歳時の未婚割合(全国値)



少子化

少子化の背景③ きょうだいの減少



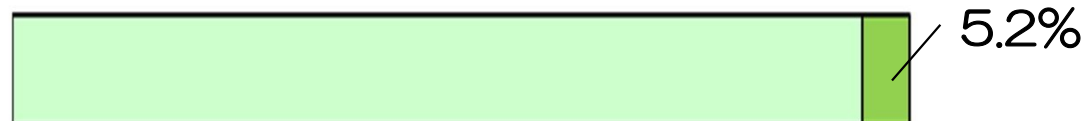
夫婦完結出生児数・・・結婚持続期間（結婚からの経過期間）15～19年夫婦の平均出生子ども数であり、夫婦の最終的な平均出生子ども数とみなされる

高齢化

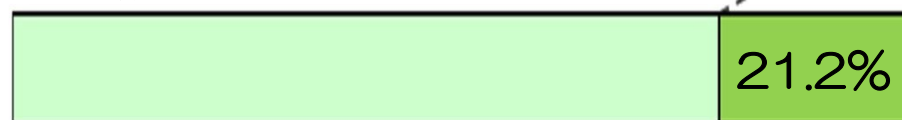
高齢化率は年々上昇している。

高齢化率の昭和45年、平成22年、平成27年、令和2年、令和7年との比較(名古屋市)

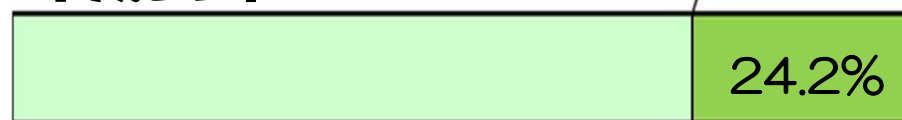
昭和45年(1970)



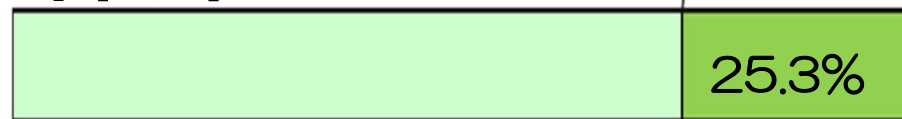
平成22年(2010)



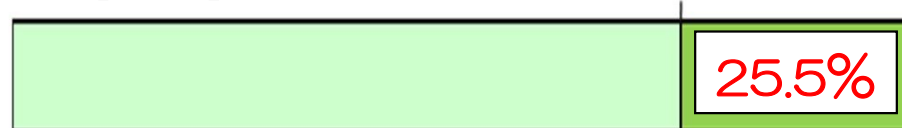
平成27年(2015)



令和2年(2020)



令和7年(2025)



名古屋市では

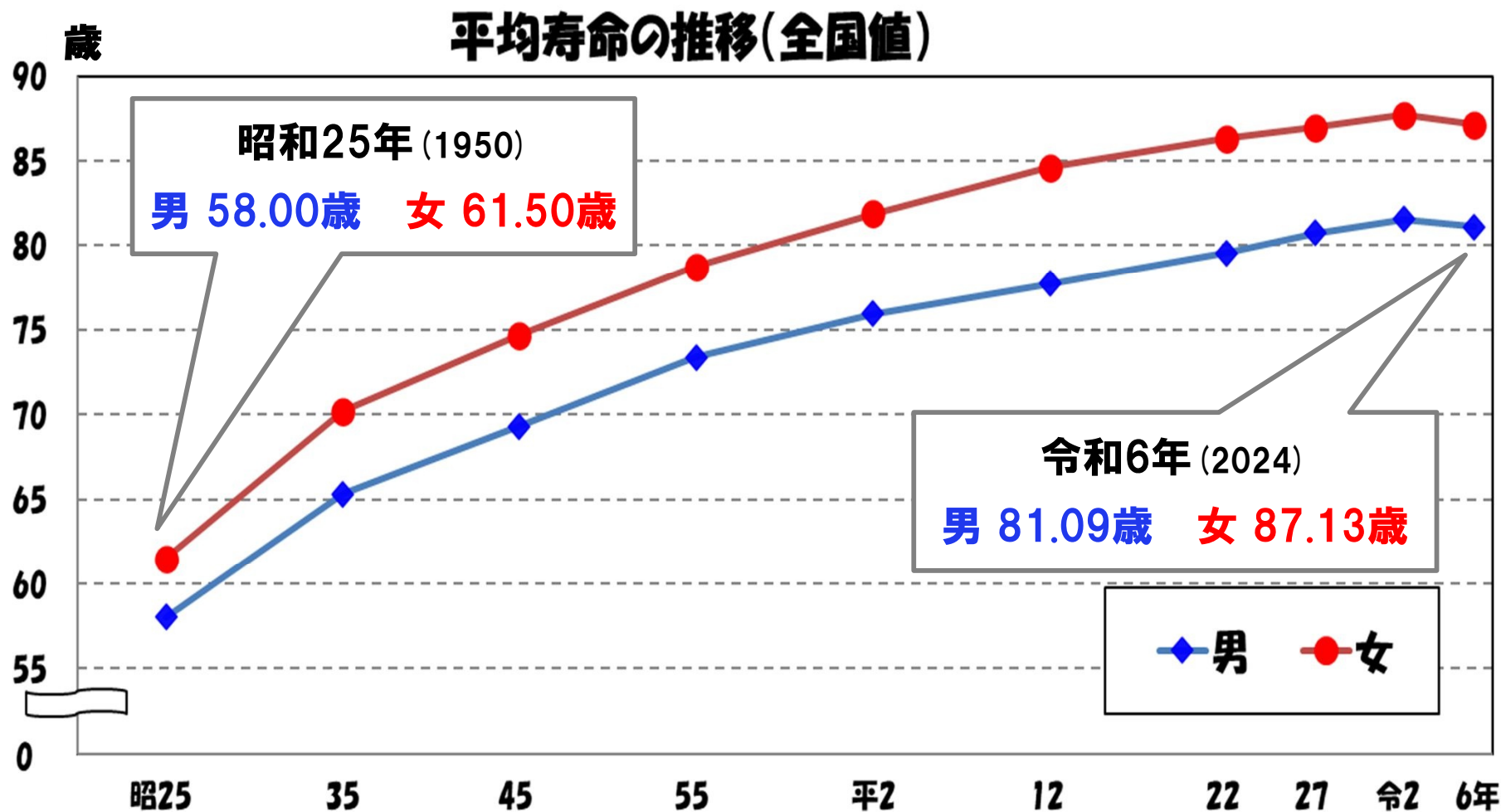
約 **4** 人に1人が高齢者

[全国値 29.4%]



高齢化

高齢化の背景にあるのは、平均寿命の上昇

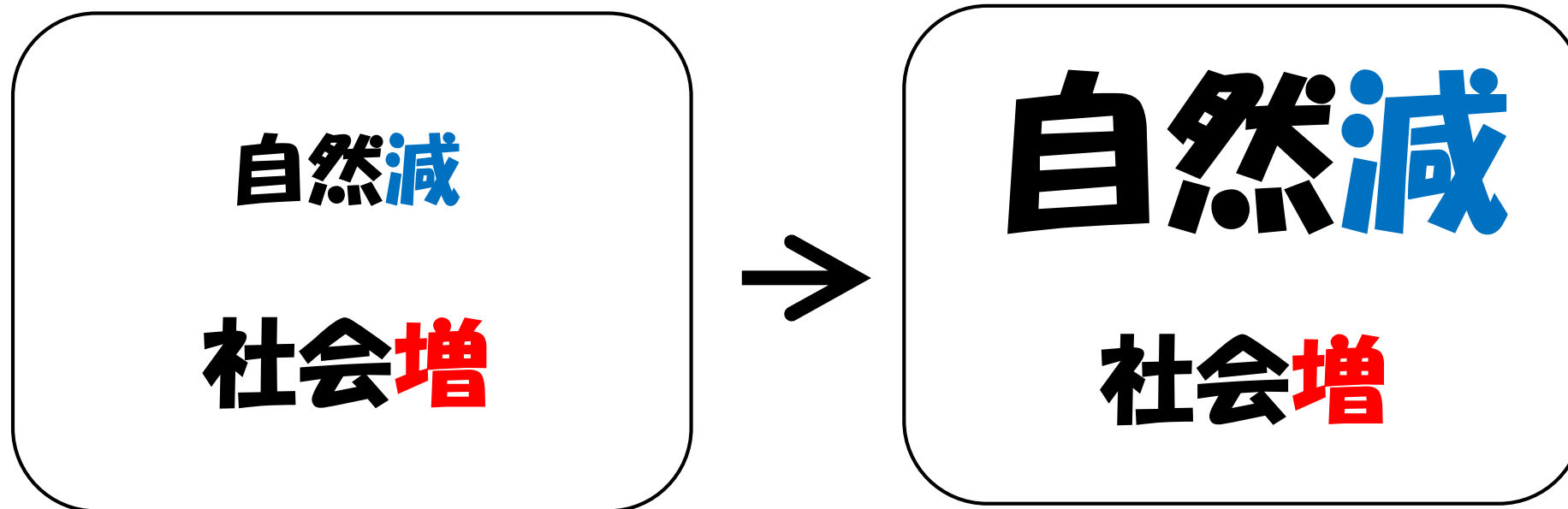


高齢化＝元気に長生きできる人が増えた

このままの状態が続くと・・・

近年（人口増加）

今後（人口減少）



今後、自然減はますます大きくなります。

ここからは、社会増の実態について見てみましょう。

④正しいのはどれ？

現在、名古屋市は全体として、
社会増（転入＞転出）となっています。しかし、
名古屋市から転出する方が多い地域もあります。
次の中で名古屋から一番人口が流出（転入＜転出）
している地域はどこでしょうか？
次の中から一つ選んでください。

正解 ①東京



②大阪

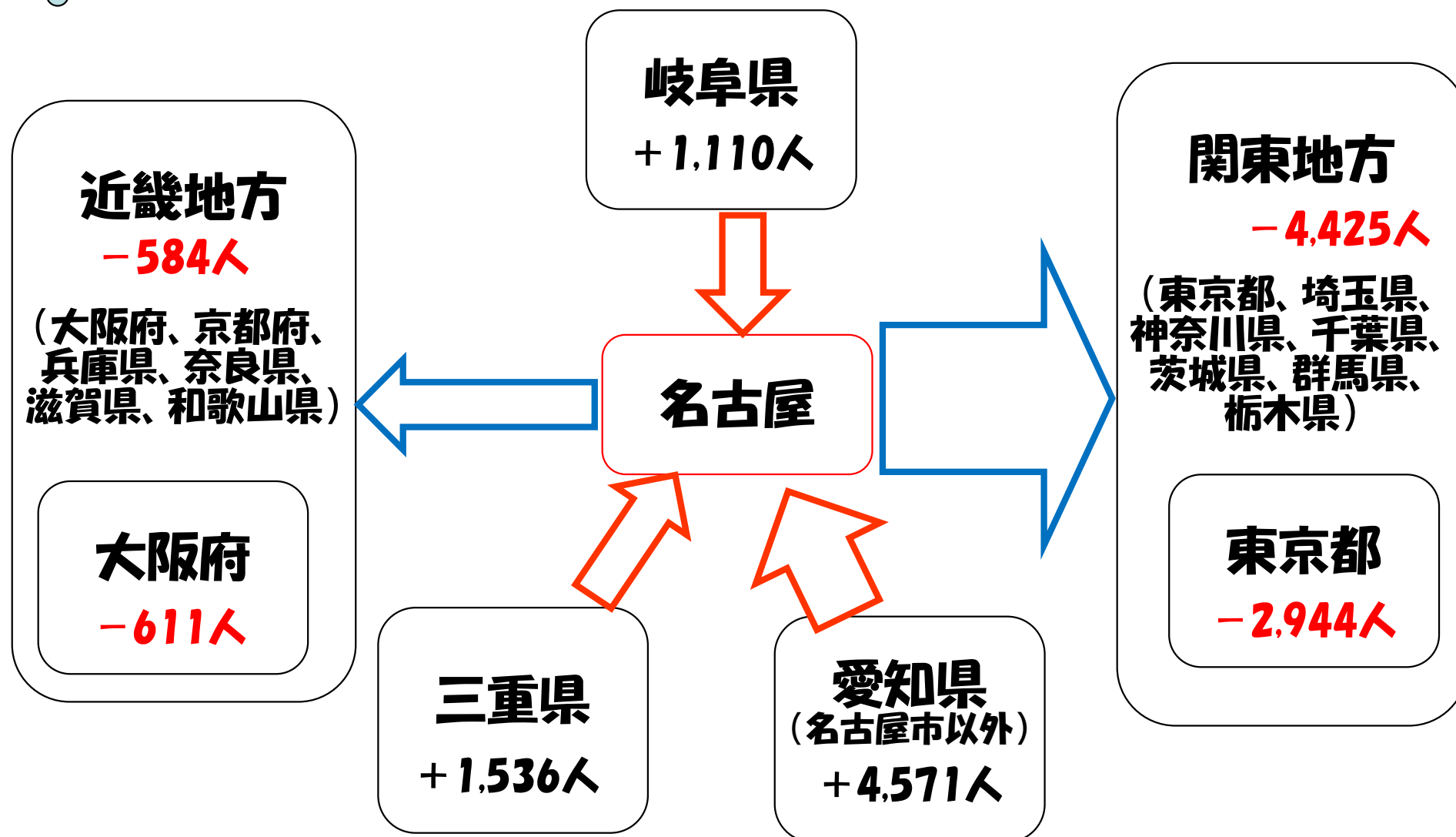


③東海三県（愛知・岐阜・三重）



地域別の社会増減数（転入－転出）

関東地方（特に東京）へ人口が流れている



令和6年10月～令和7年9月

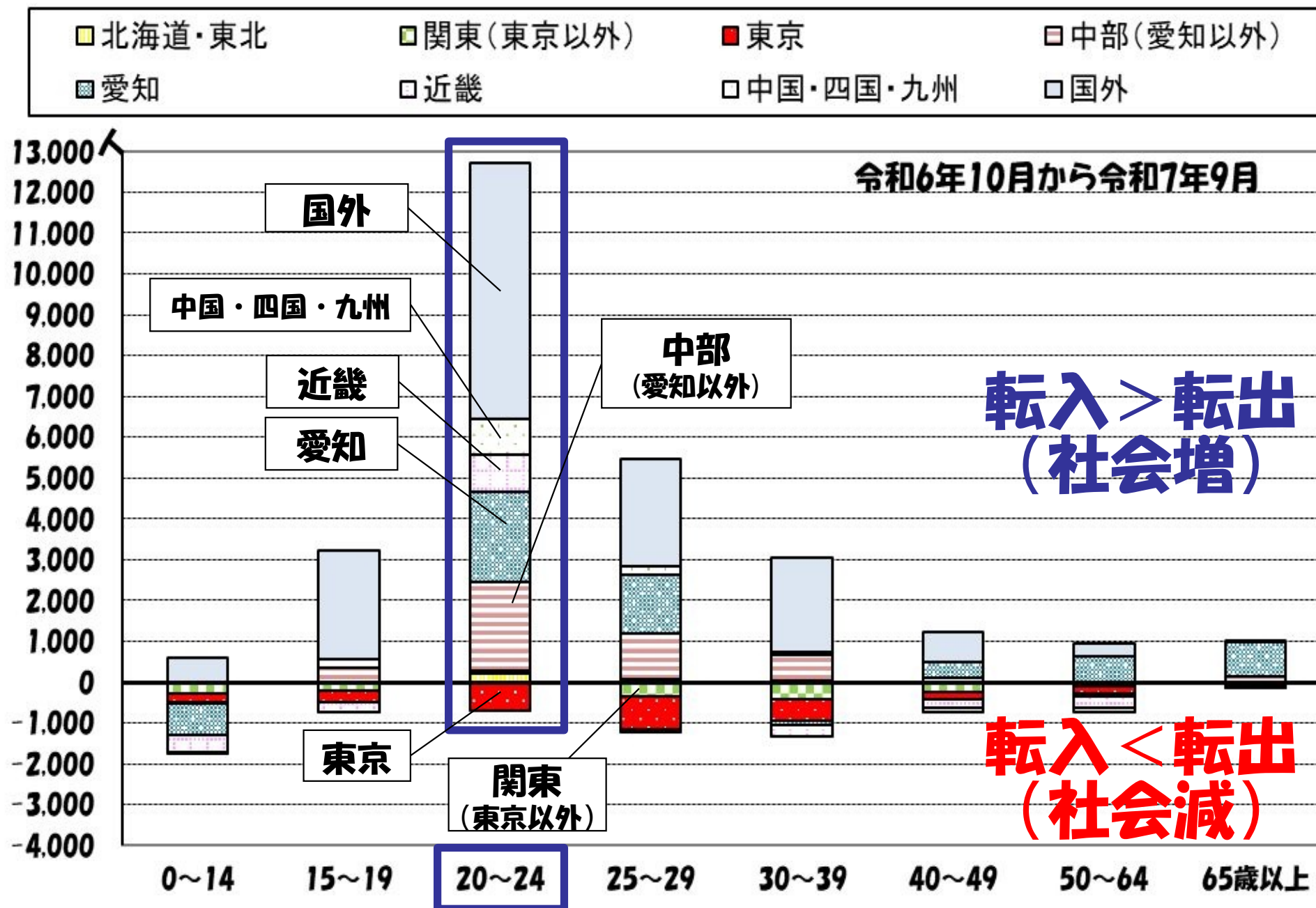
考えてみよう！！

では、いったい人はどんなときに移動するのでしょうか？

例えば・・・

- ・ 県内での移動 住宅の購入 など
- ・ 県外との移動 就職、転勤、
結婚、入学進学
など

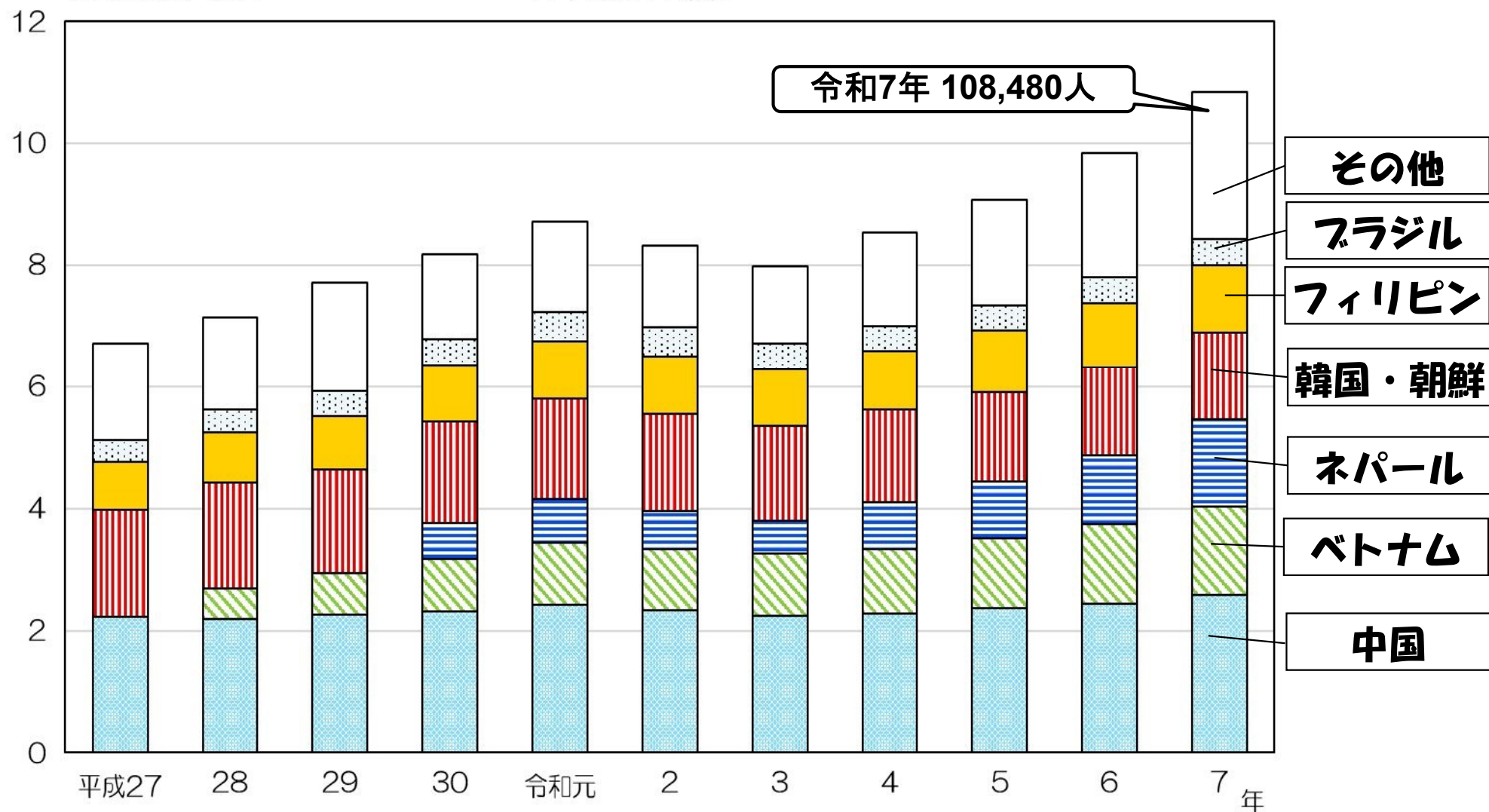
年齢別・地域別 名古屋市への転出入



国籍・地域別外国人公簿人口

外国人人口：万人

各年10月1日現在



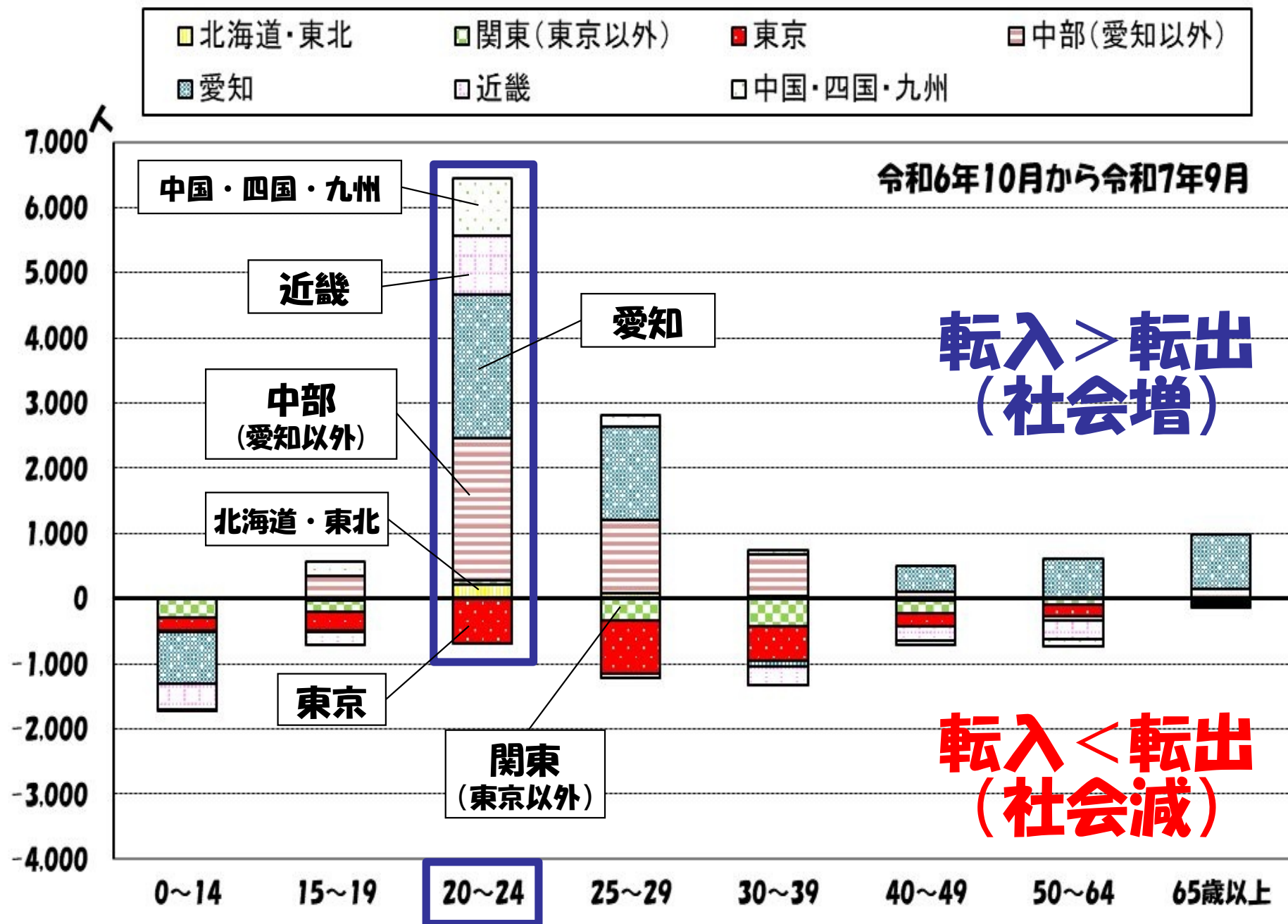
(注1) ベトナムについては、平成 27 年以前は「その他」に含めて記載している。

(注2) 中国については、平成 27 年以前は台湾を含めた数値で記載している。

平成 28 年以降は 台湾を「その他」に含めて記載している。

(注3) ネパールについては、平成 29 年以前は「その他」に含めて記載している。

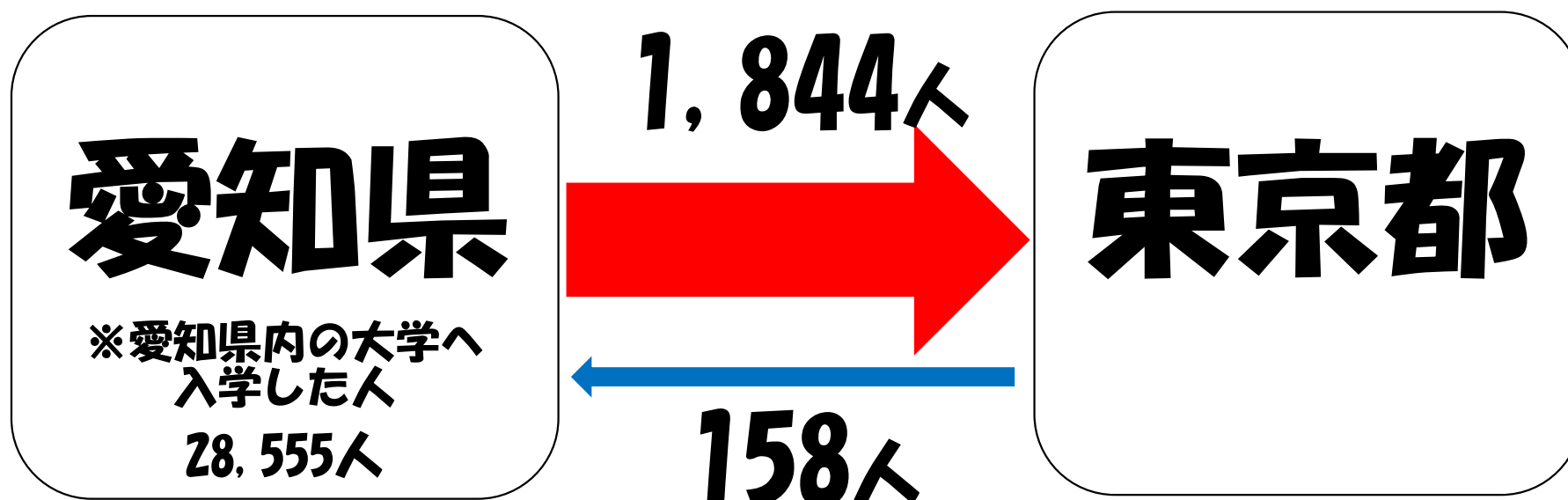
年齢別・地域別 名古屋市への転出入（除国外）



愛知と東京でみる大学への 入学状況

↓ ※大学に進学した人は39,402人

愛知県内にある高校を卒業した人のうち、東京の大学へ入学した人の数



東京都内にある高校を卒業した人のうち、愛知の大学へ入学した人の数

※令和7年

ここまでのまとめ

少子化

- ・合計特殊出生率は1.12
- ・長期的な人口維持のための合計特殊出生率(2.07)を大きく下回っている。

高齢化

- ・背景として、平均寿命の上昇と、少子化の進行。
- ・今後も高齢化はすすむ。

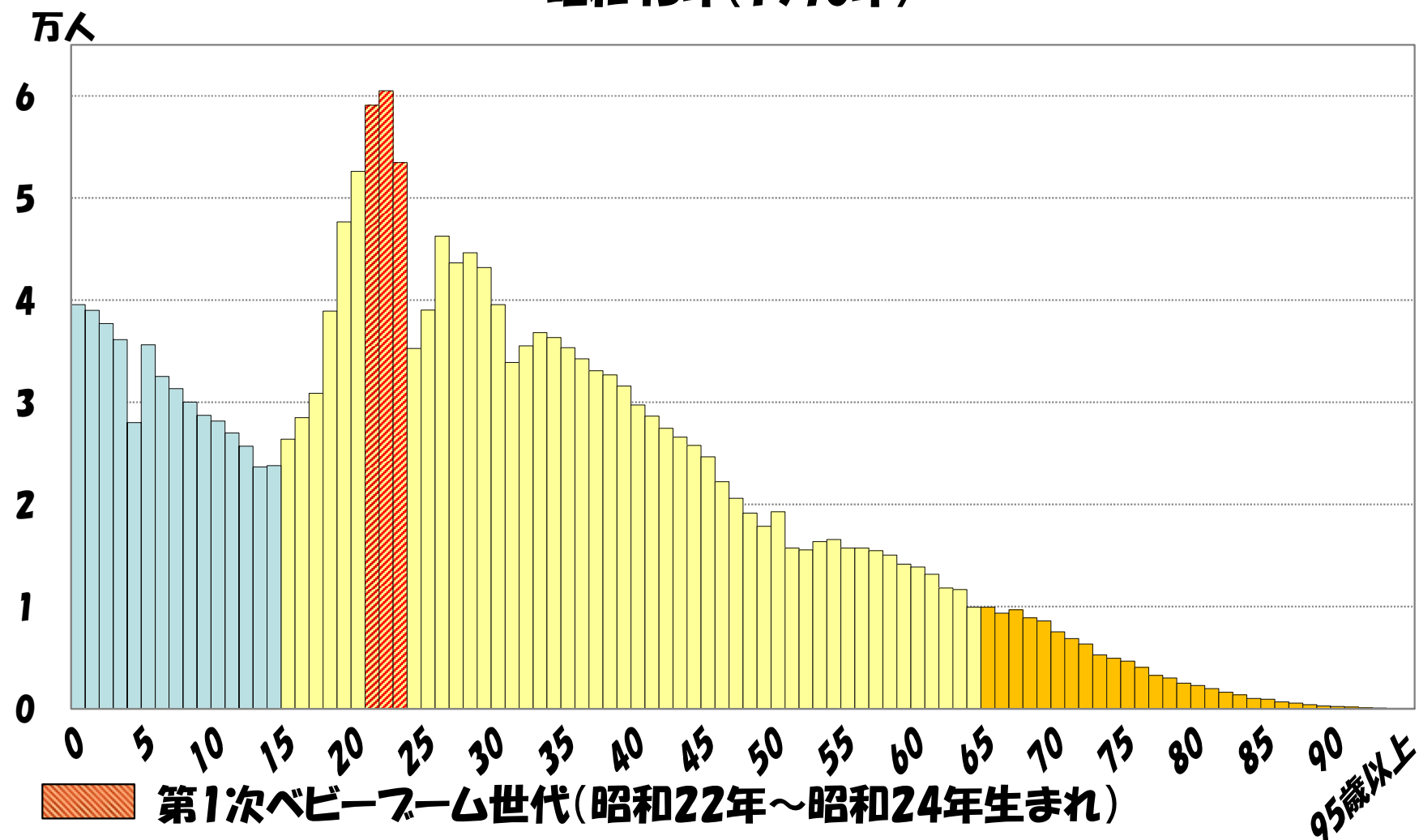
名古屋市の社会増減(転入－転出)

- ・現在は、転入数が多い。(転入＞転出)
- ・国外からの転入が多い。(転入＞転出)
- ・関東地方(特に東京)に人口が流れている。(転入＜転出)

★今後は、自然減を社会増がカバーしきれずに、人口は減少していくと見込まれている。

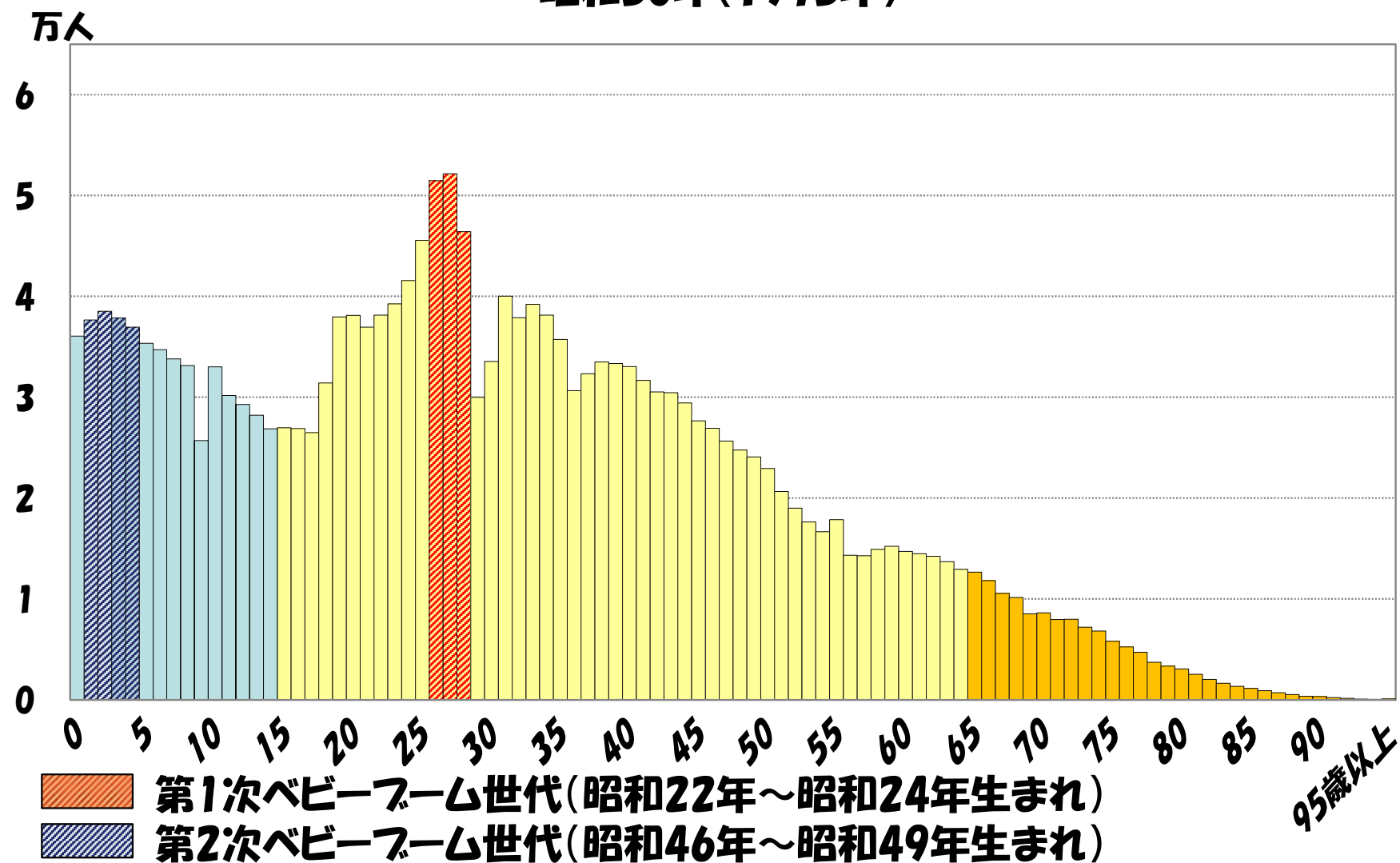
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

昭和45年(1970年)



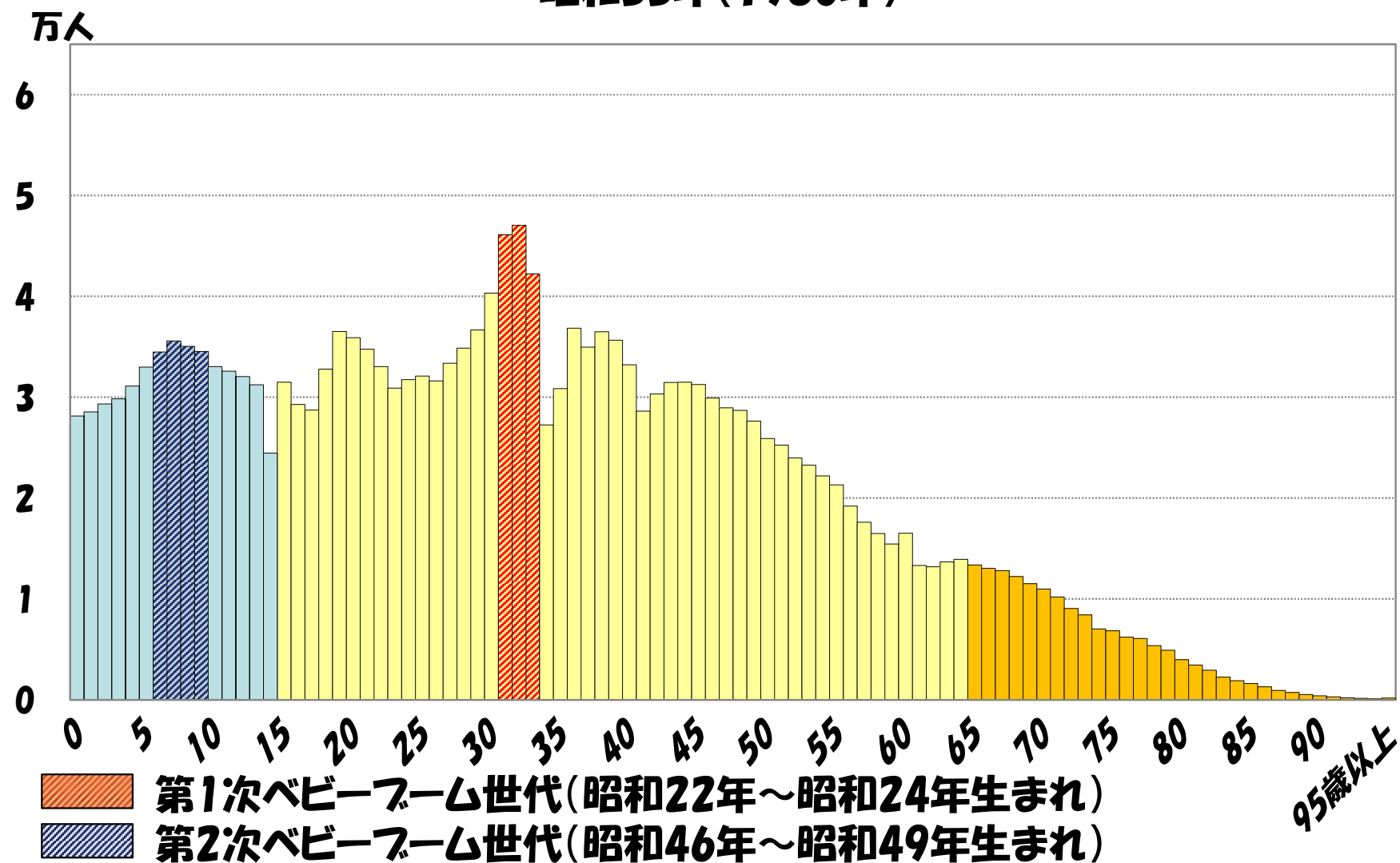
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

昭和50年(1975年)



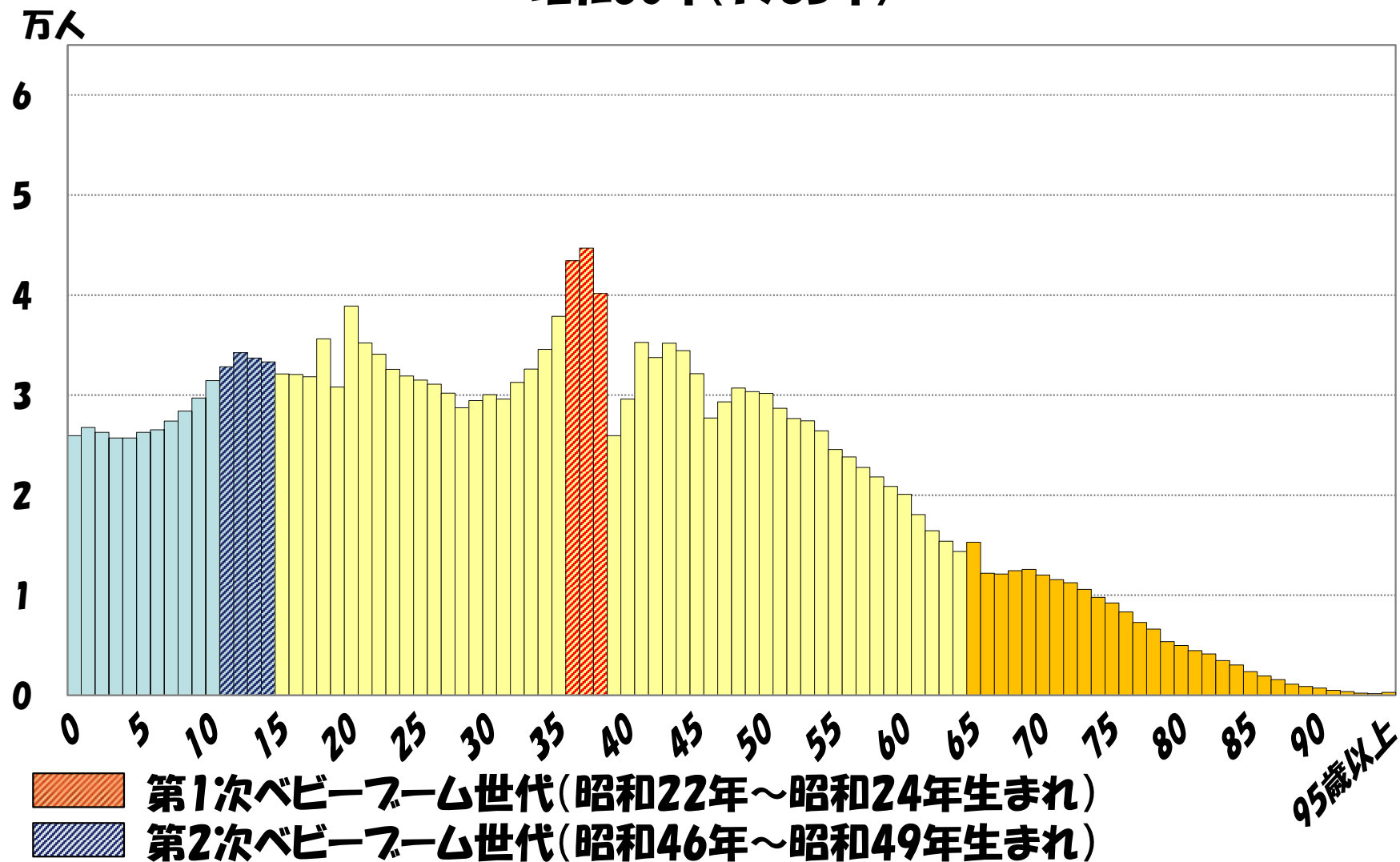
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

昭和55年(1980年)



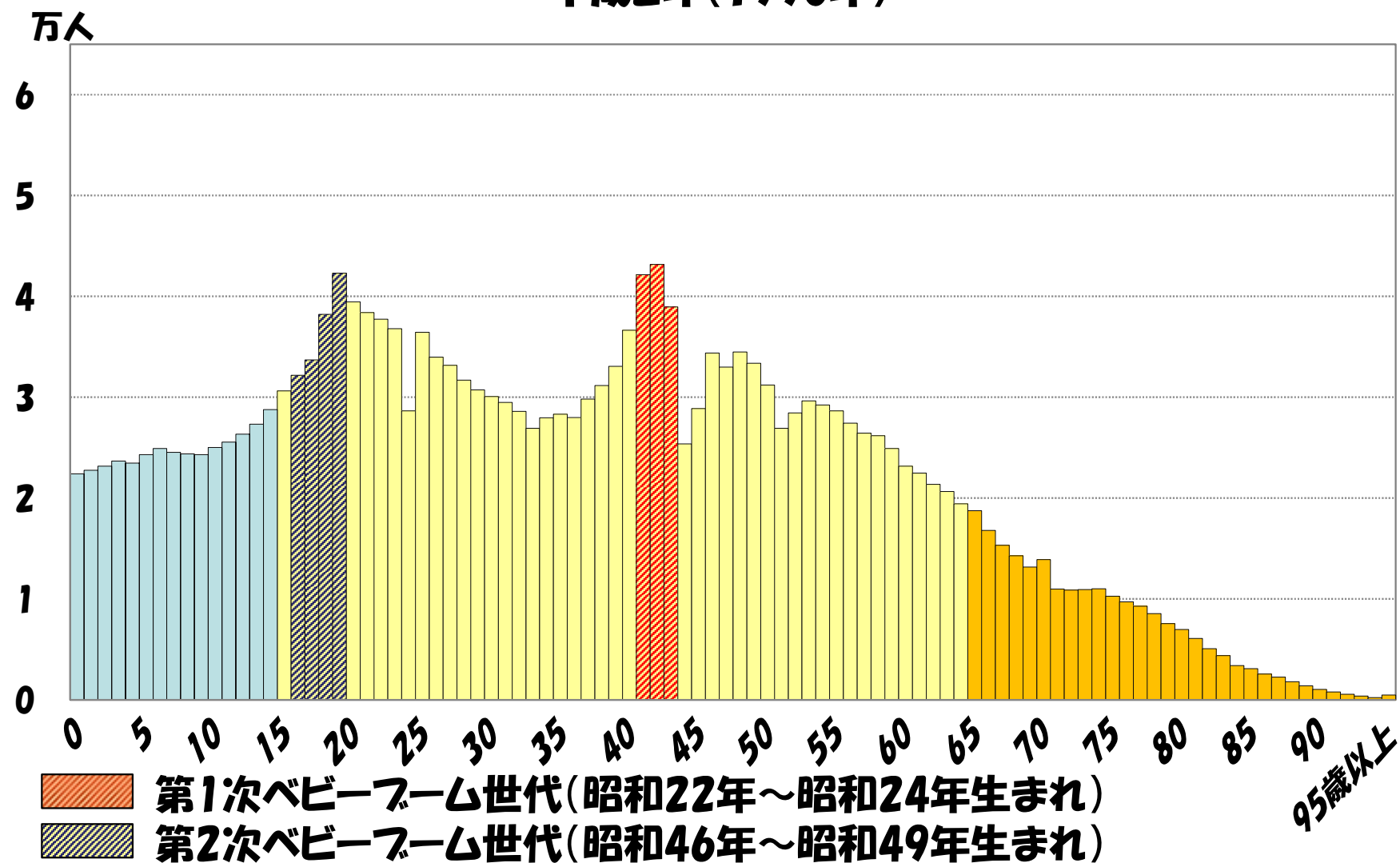
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

昭和60年(1985年)



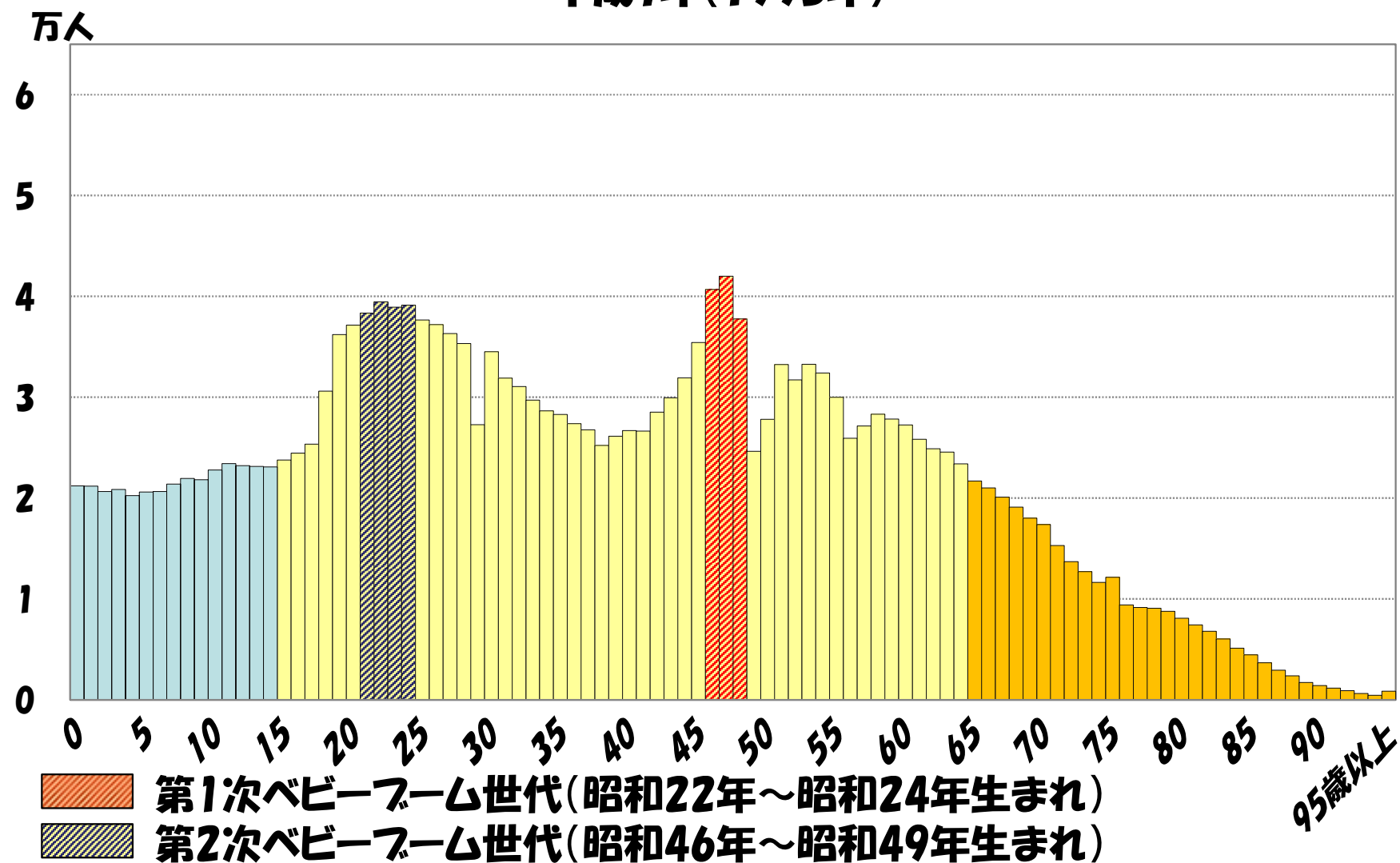
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成2年(1990年)



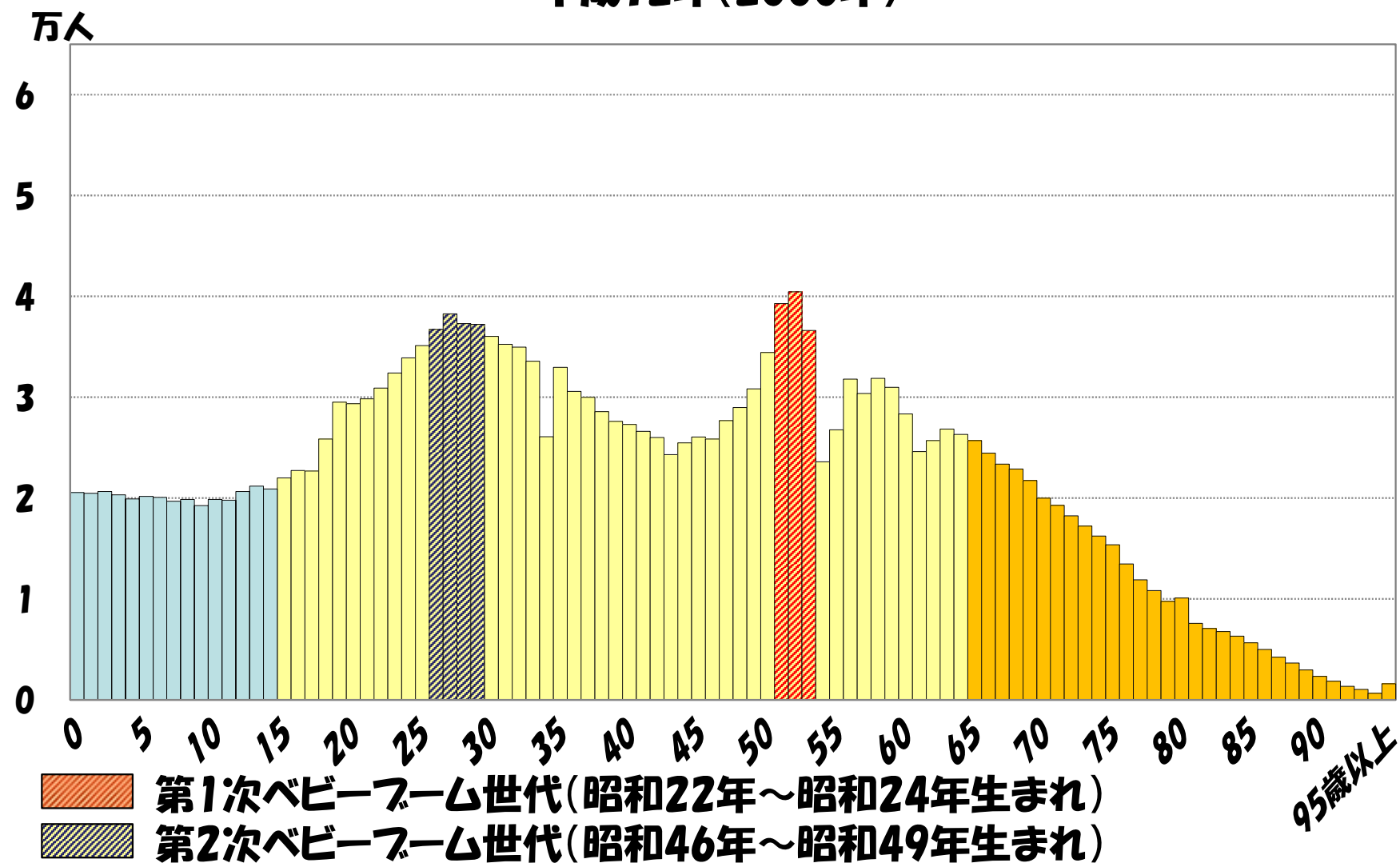
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成7年(1995年)



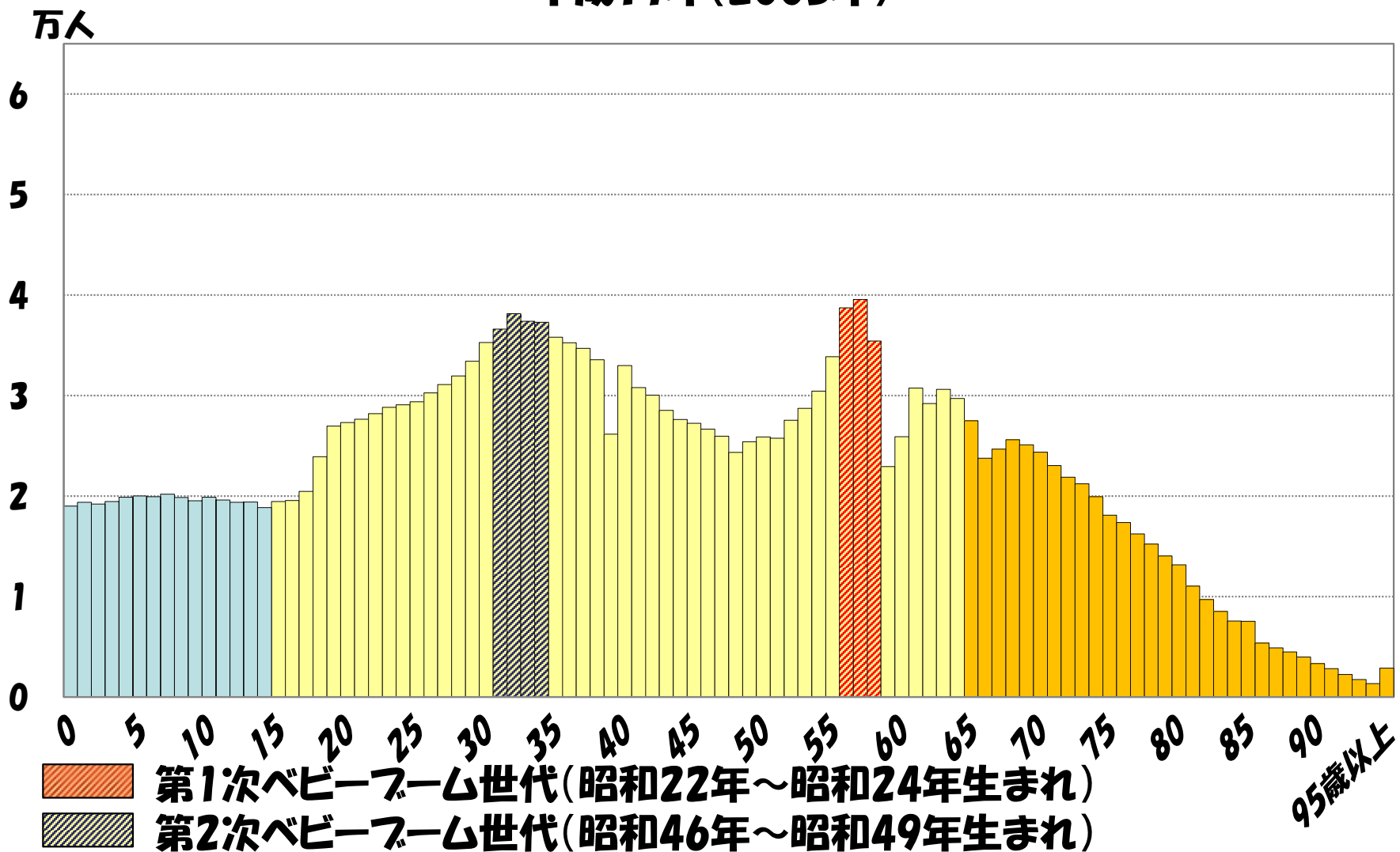
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成12年(2000年)



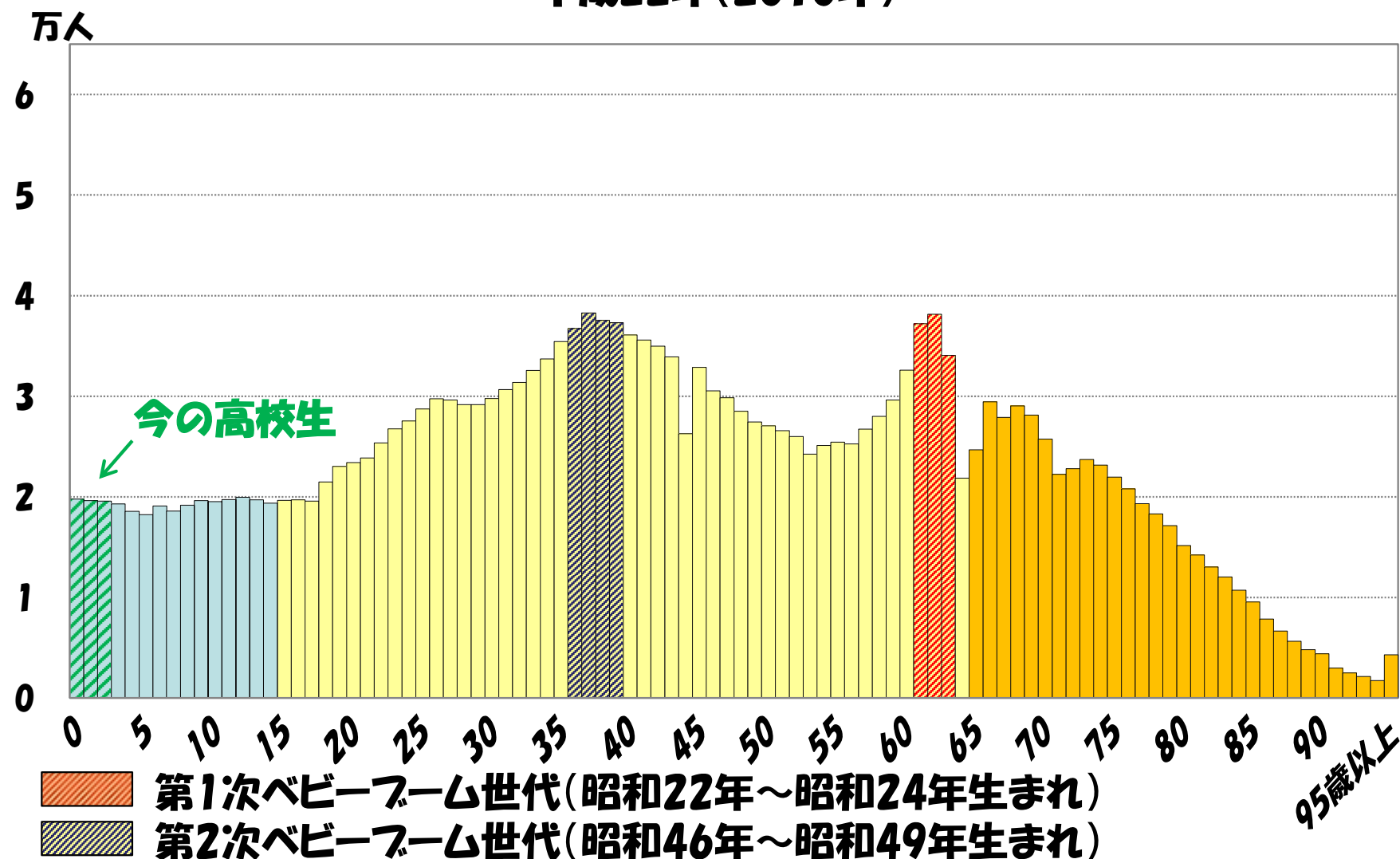
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成17年(2005年)



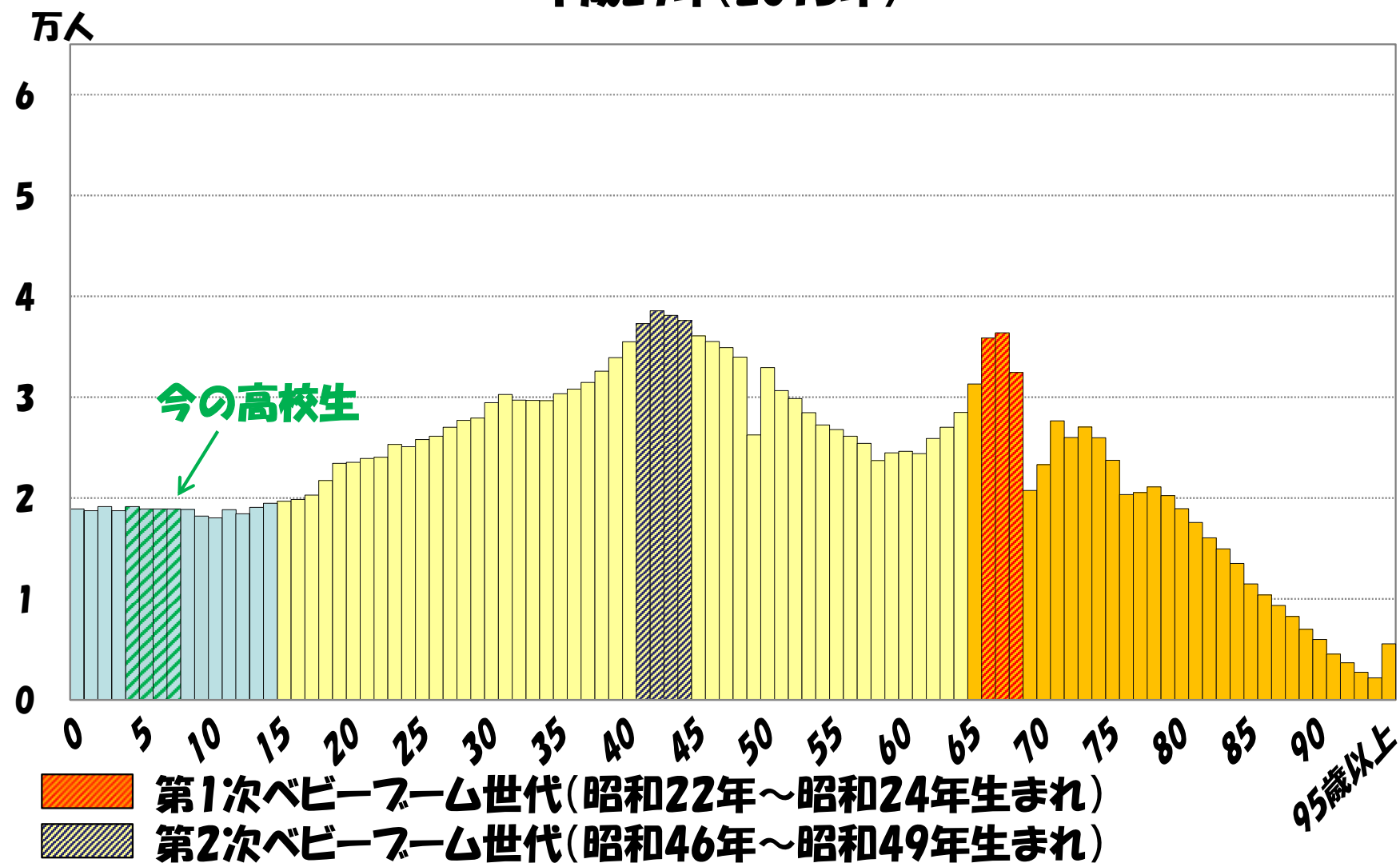
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成22年(2010年)



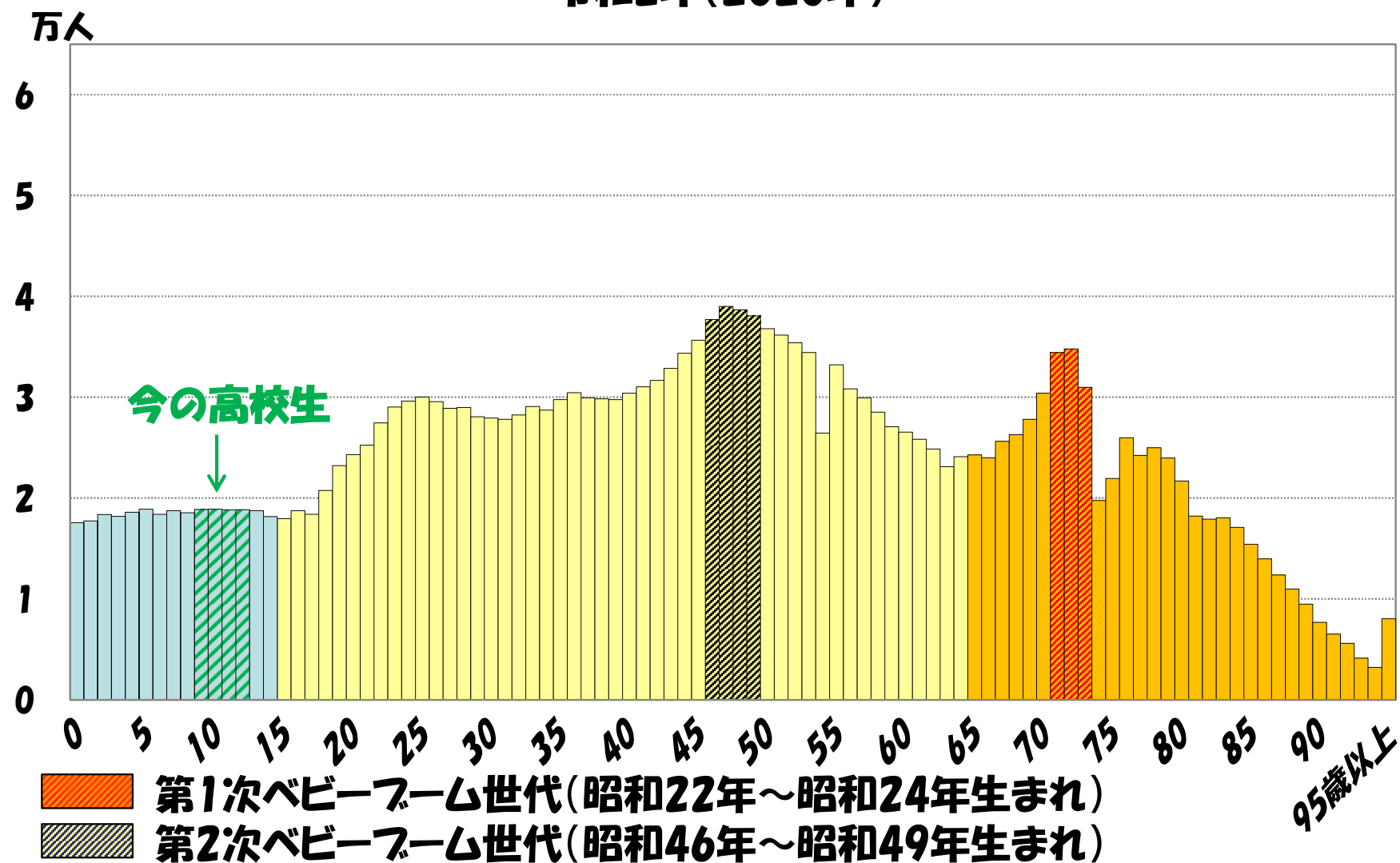
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

平成27年(2015年)



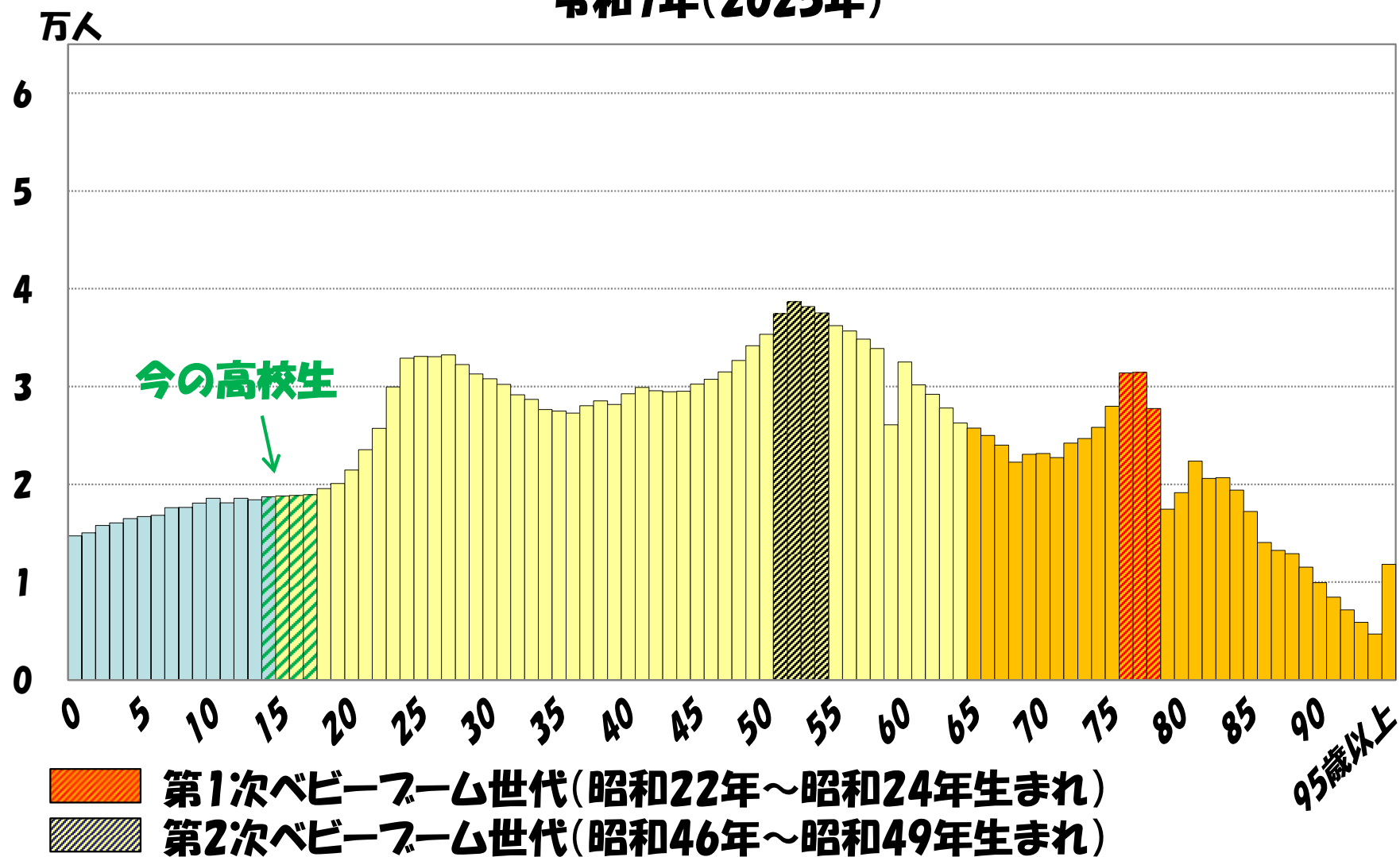
名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

令和2年(2020年)



名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

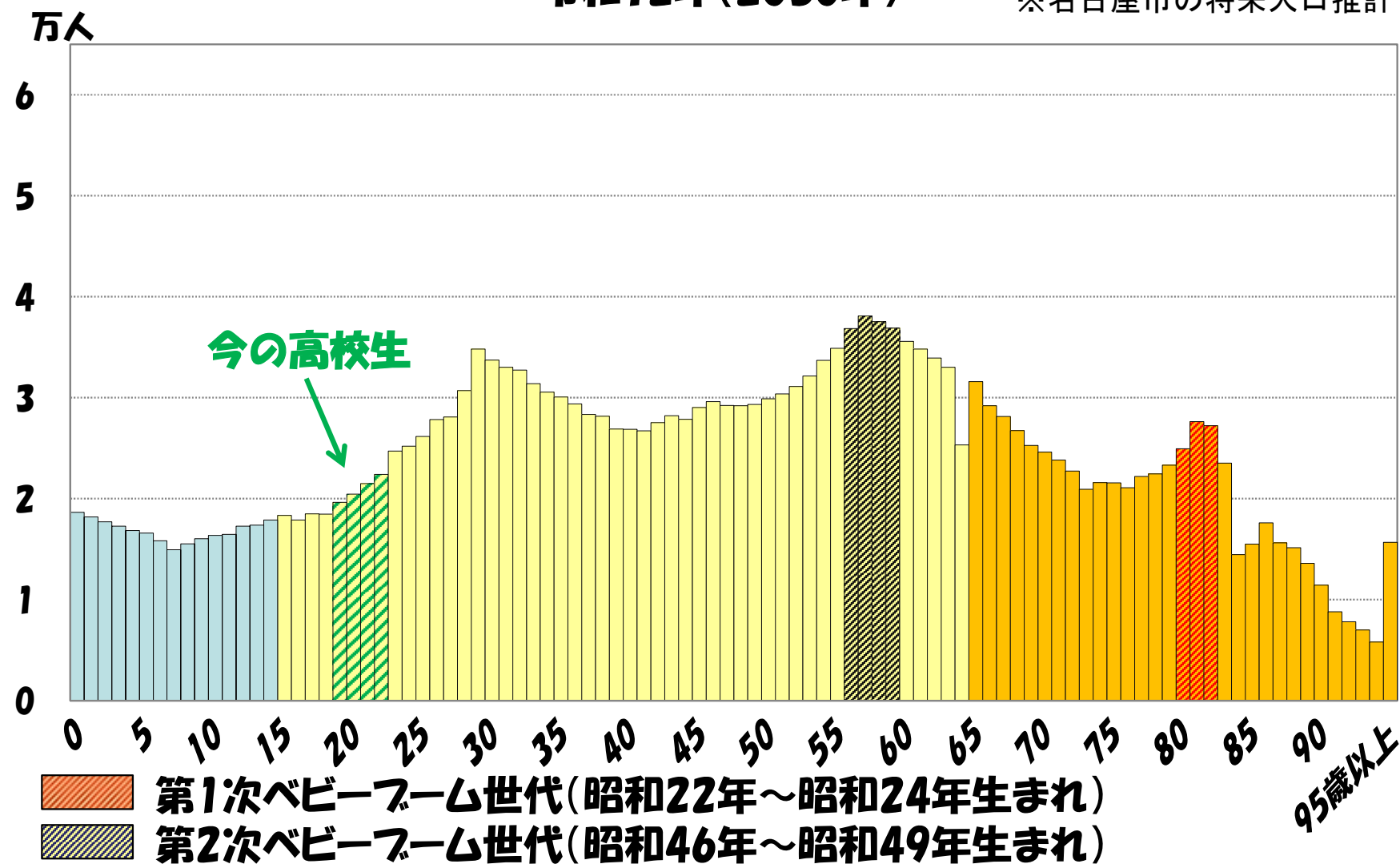
令和7年(2025年)



名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

令和12年(2030年)

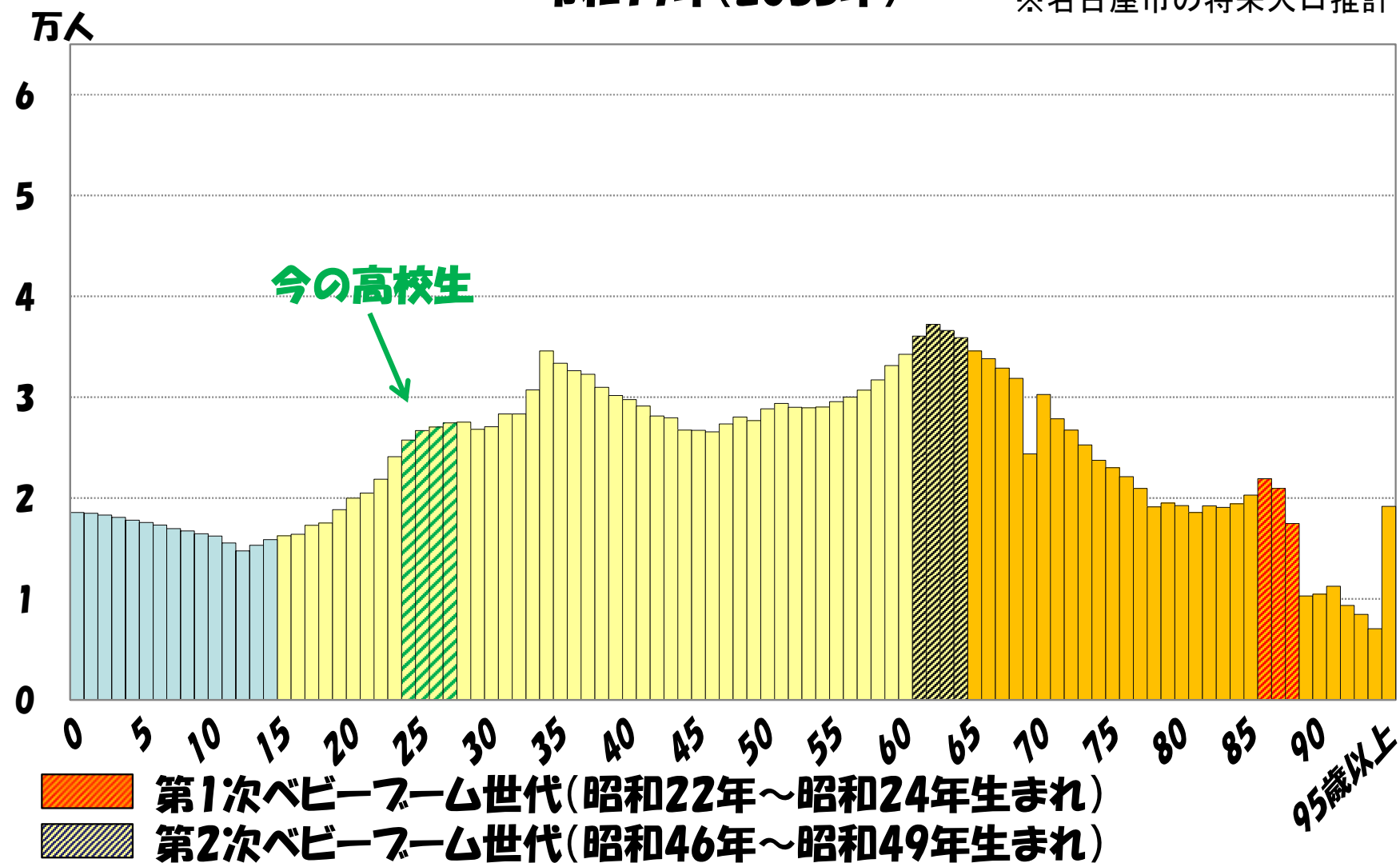
※名古屋市の将来人口推計



名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

令和17年(2035年)

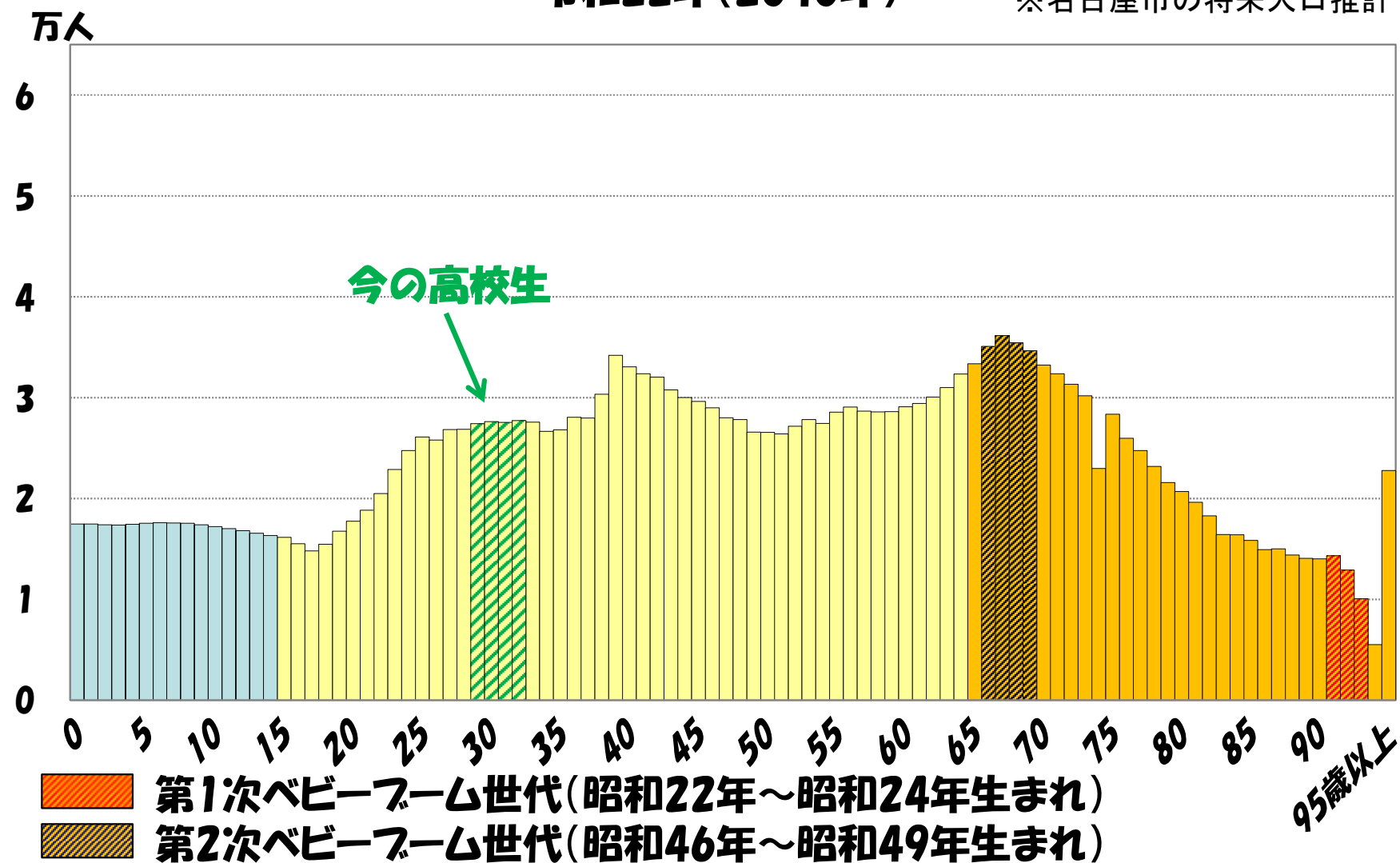
※名古屋市の将来人口推計



名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

令和22年(2040年)

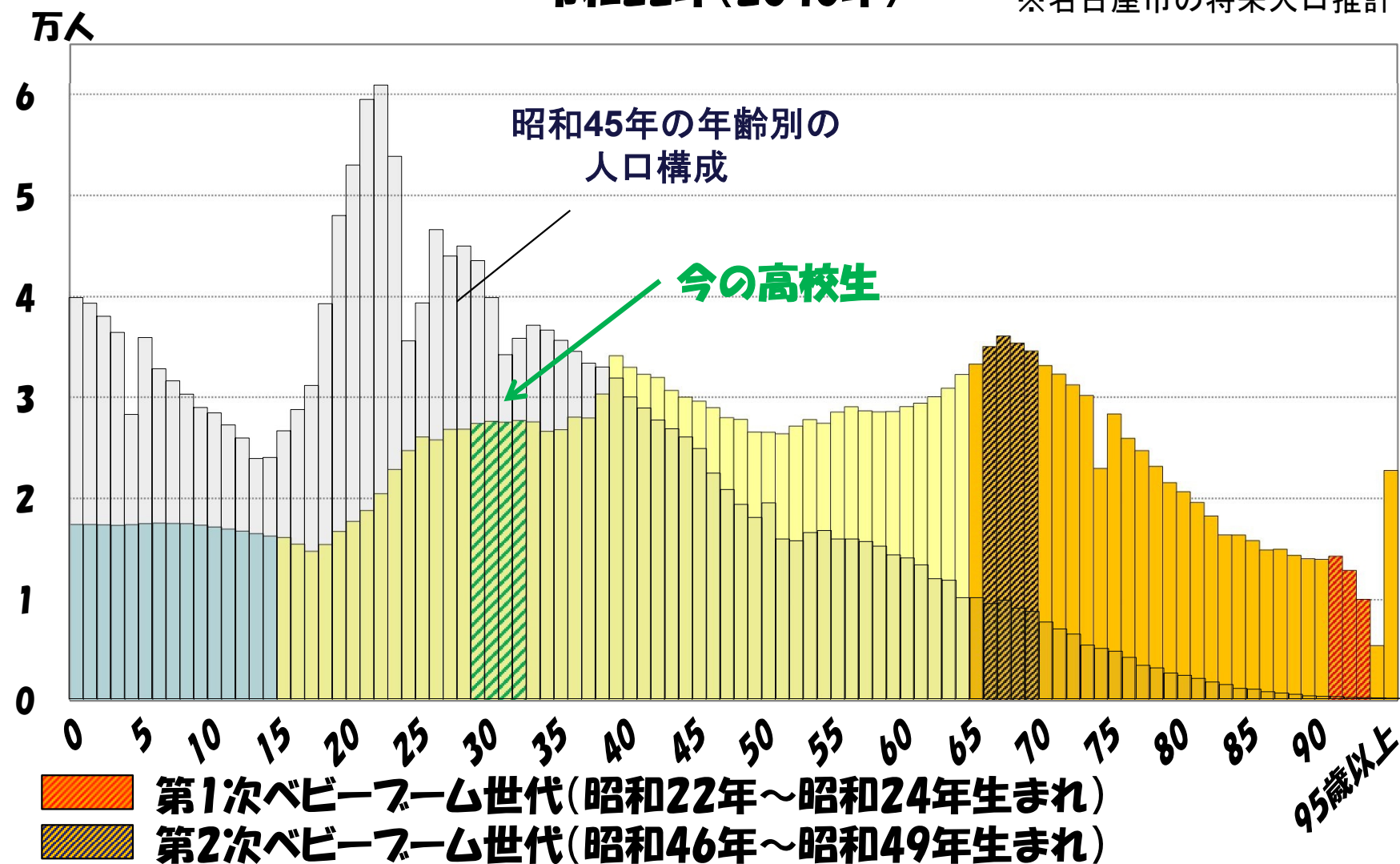
※名古屋市の将来人口推計



名古屋市の年齢別の人口構成を見てみよう

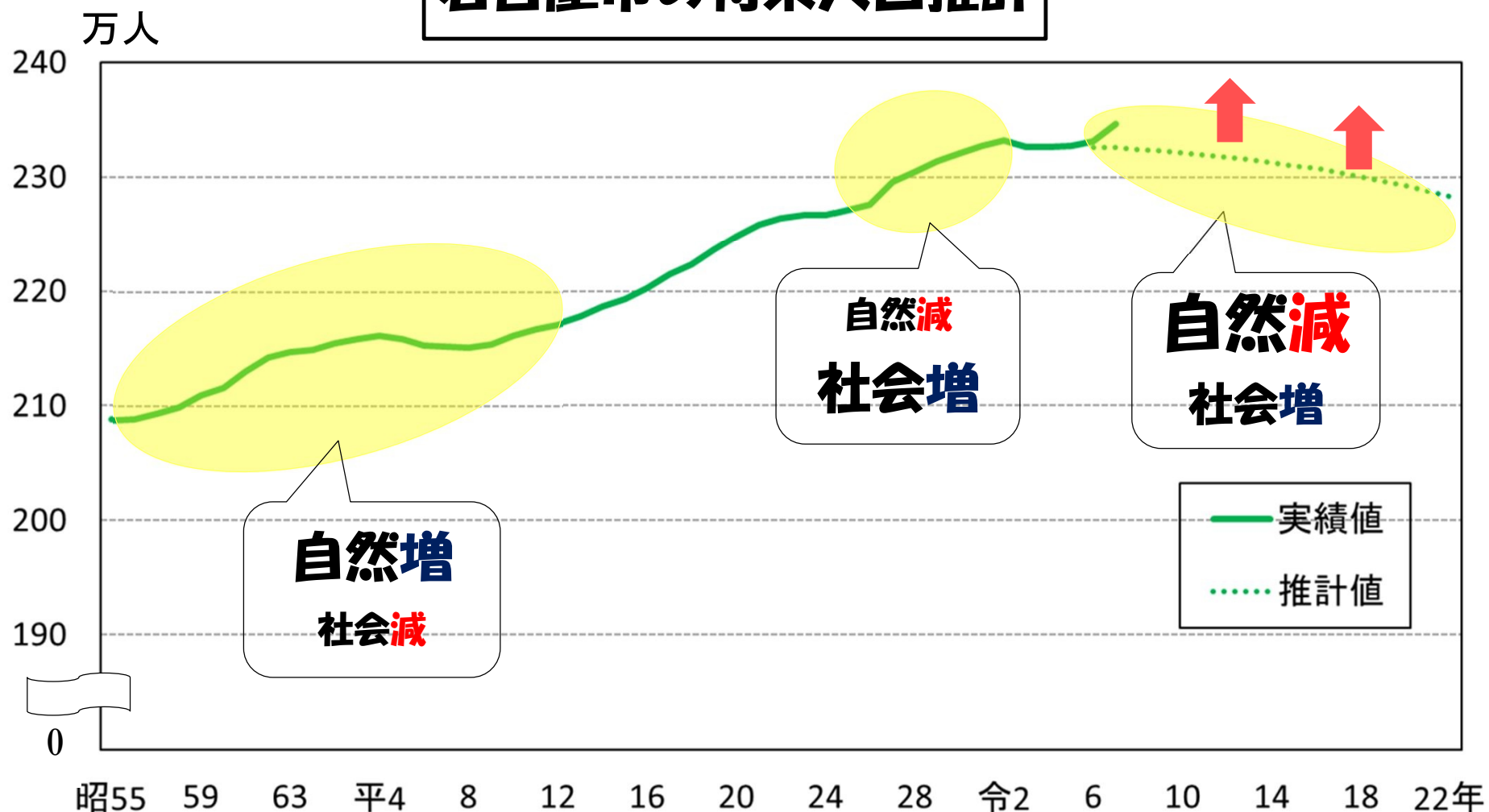
令和22年(2040年)

※名古屋市の将来人口推計



まとめ

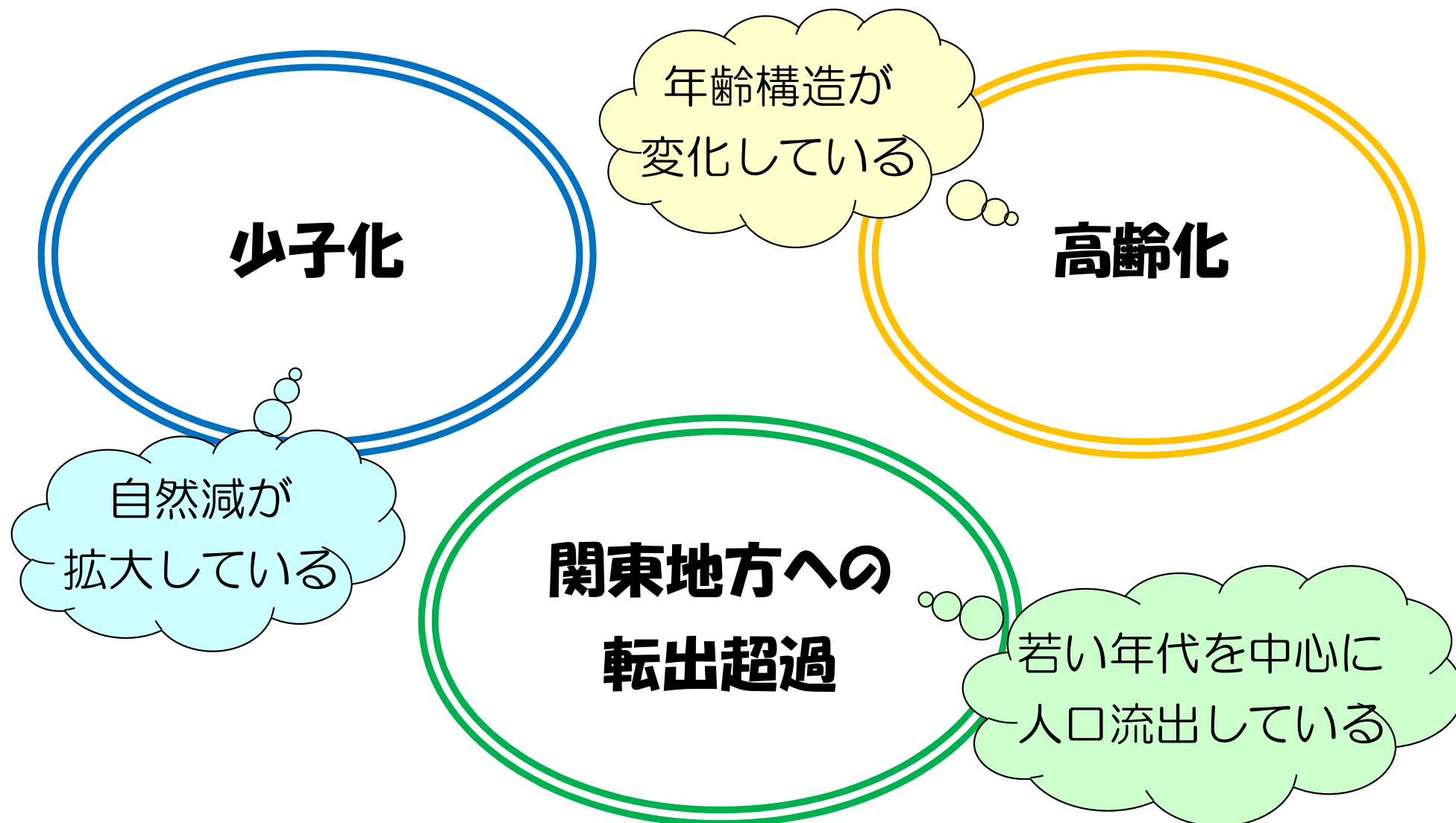
名古屋市の将来人口推計



統計データから **現状** **将来予測** が見えてきた

➡ これからどうすればよいのかを考えてみる！

名古屋市の人口には こんな課題が見えてくる



少子化 ならば...

**結婚や子育ての
希望がかなう環境**

子育てしやすい環境

**ワーク・ライフ・バランス
(仕事と生活の調和)**

高齢化 ならば...

**救急医療体制や
介護人材の確保**

**住み慣れた地域で
安心して暮らす仕組み**

**元気な高齢者の
地域貢献の機会充実**

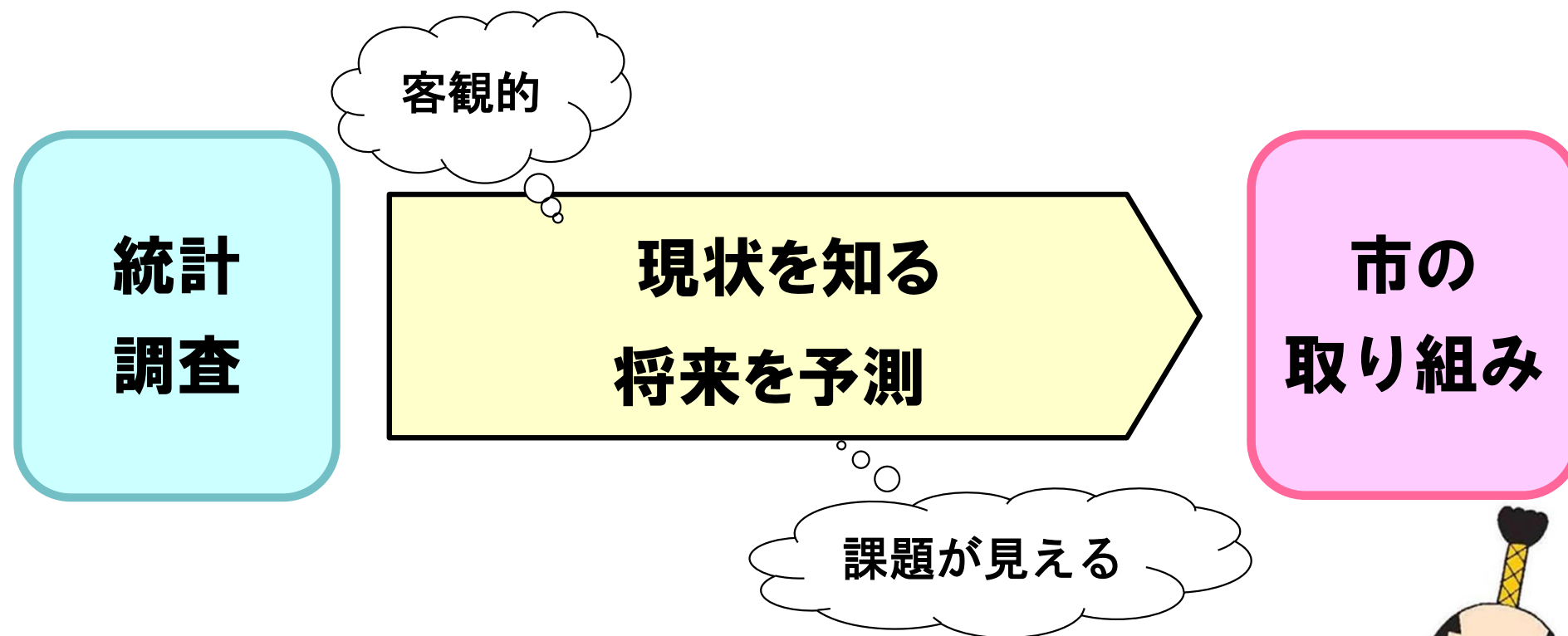
関東地方への転出超過 ならば...

都市の魅力向上・発信

**産業力の強化や
魅力的な雇用の創出**

**転出が多い世代への
取り組み**

統計は市の取り組みを考える基礎資料



統計をどんどん活用して
より暮らしやすく魅力的なまちへ！



統計は

「物事のありのままを
映し出す**鏡**」

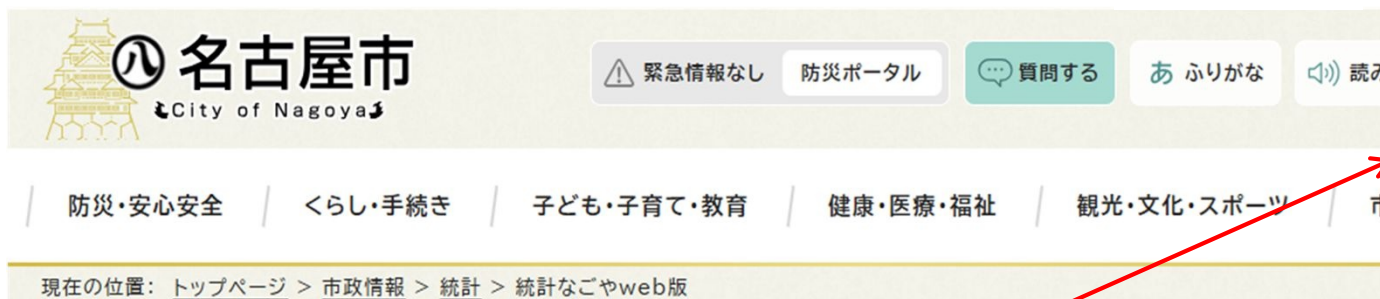


「進むべき方向を示す
羅針盤（コンパス）」



統計を利用・活用
してみよう！

名古屋市の統計データ 統計なごやweb版



現在の位置: [トップページ](#) > [市政情報](#) > [統計](#) > [統計なごやweb版](#)

統計なごやweb版

名古屋市の統計資料の提供やダウンロードサービスなどのご案内です。

> [新着情報\(統計なごやweb版\)](#)

> [名古屋市の人口](#)

過去・最新の世帯数と人口はこちらです。

> [統計データを探す](#)

お探しの統計データの場所がわからない場合は、本

> [統計調査について](#)

実施している統計調査についての情報や統計調査

> [分野別統計調査結果](#)

> [統計でみた名古屋のスケッチ](#)

> [統計スクール\(統計啓発講座\)](#)

> [毎月の統計データ](#)

名古屋の スケッチ



～統計でみた～ 令和8年 (2026)

① 名古屋のスケッチ

Statistical Sketch of Nagoya

市の木 クスノキ City tree Camphor tree
市の花 ユリ City flower Lily

姉妹友好都市 Sister & friendship cities

ロサンゼルス市、Los Angeles, USA; Mexico City, Mexico;
メキシコ市、南京市、Nanjing, China; Sydney, Australia;
シドニー市、トリノ市、ランス市 Turin, Italy; Reims, France

パートナー都市 Partner cities

台中市、タシケント市 Taichung, Taiwan; Tashkent, Uzbekistan
友好都市 Friendship cities

陸前高田市 Rikuzentakata, Japan
(令和8年1月1日) (Jan. 1, 2026)

地勢 Geography

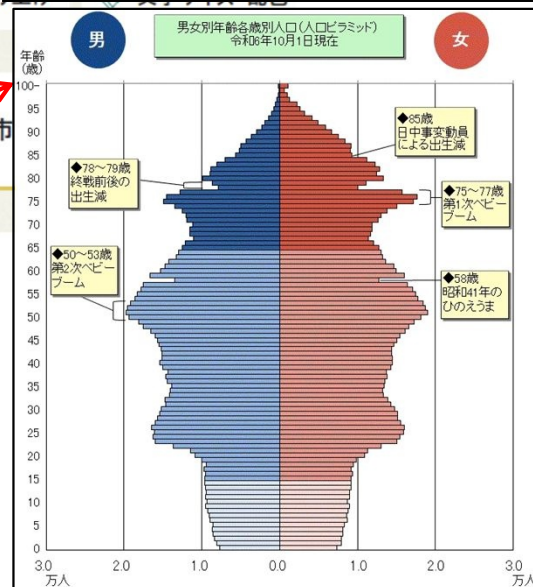
最高点・最低点 Highest and lowest point

(令和8年1月1日) (Jan. 1, 2026)
198.4m (守山区大字上志段味字東谷)
(Togoku, Kamishidami, Moriyama-ku)
-1.73m (港区新茶屋四丁目)
(Shinchaya 4-chome, Minato-ku)

市域面積(令和8年1月) Municipal area 326.45km² (Jan. 2026)
(参考 市制施行時(明治22年)の市域面積 13.34km²)
(Ref. Area of City at time of incorporation 13.34km²)

- 1 -

名古屋市の人口



全国のデータなら

e-Stat

政府統計の総合窓口



最後に

☆統計調査の結果は様々な場面で活用されています。

(例:災害備蓄の試算、コンビニの出店計画)

☆正確な結果を得るためにも、調査へのご理解とご協力をお願いします！



【ご意見、ご質問等は下記メールアドレスをお願いします】

a2254@somu.city.nagoya.lg.jp (名古屋市総務局企画部統計課)

参考資料一覧

ページ番号	出典
3	総務省「国勢調査」
4	総務省「国勢調査」、総務省「人口推計」
6	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」、「毎月の人口(推計人口)」
8～11	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」
14,16～17	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」「名古屋市将来人口推計」「年齢別人口(全市・区別)、人口ピラミッド」「国勢調査結果の長期推移」
19～20	厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)の概況」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2026)」、名古屋市「人口動態統計の概況」「名古屋市総合計画2028」
21	厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)の概況」
22	国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2026年版)」
23	国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」
24	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」「年齢別人口(全市・区別)、人口ピラミッド」、総務省「国勢調査」「人口推計」、内閣府「高齢社会白書」
25	厚生労働省「簡易生命表の概況」
28	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」
30～32	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」
33	文部科学省「学校基本調査」
35～45	総務省「国勢調査」
46	名古屋市「年齢別人口(全市・区別)、人口ピラミッド」
47～50	名古屋市「名古屋市将来人口推計」
51	名古屋市「愛知県人口動向調査(名古屋市分)」「名古屋市将来人口推計」「年齢別人口(全市・区別)、人口ピラミッド」